

区民アンケート調査、 在勤者・来街者アンケート調査結果の概要

<目次>

- 1 区民アンケート調査・・・・・・・・・・ 1
- 2 在勤者アンケート調査・・・・・・・・・・ 26
- 3 来街者アンケート調査・・・・・・・・・・ 34

令和8年3月24日

渋谷区経営企画部経営企画課

1 区民アンケート調査

(1) 調査の概要

① 調査の目的

◆渋谷区が今まで取り組んできた施策に対する満足度や、今後より充実を図るべき取組などについて、幅広くご意見をうかがい、今回策定する長期基本計画の基礎資料とすることを目的に実施したものです。

② 調査の実施方法・期間等

調査対象	住民基本台帳より、区内在住の満 18 歳以上から無作為抽出した区民 3,000 人を対象
実施方法	郵送による調査票の配布、郵送及びWEB（インターネット）による回収
実施期間	【郵 送】令和 7 年 10 月 10 日～10 月 31 日 【WEB】令和 7 年 10 月 10 日～10 月 31 日
回収状況	・配布数 3,000 票 ・有効回収数 921 件（郵送分 384 件、WEB 分 537 件）、回収率 30.7%

③ 設問の構成

【問 1～8】回答者の属性：性別、年代、居住形態、世帯構成、他

【問 9～11】今後の定住意向：今後の定住意向、今後も住み続けたいと思う主な理由、今後はあまり住みたいとは思わない・住みたくないと思う主な理由、他

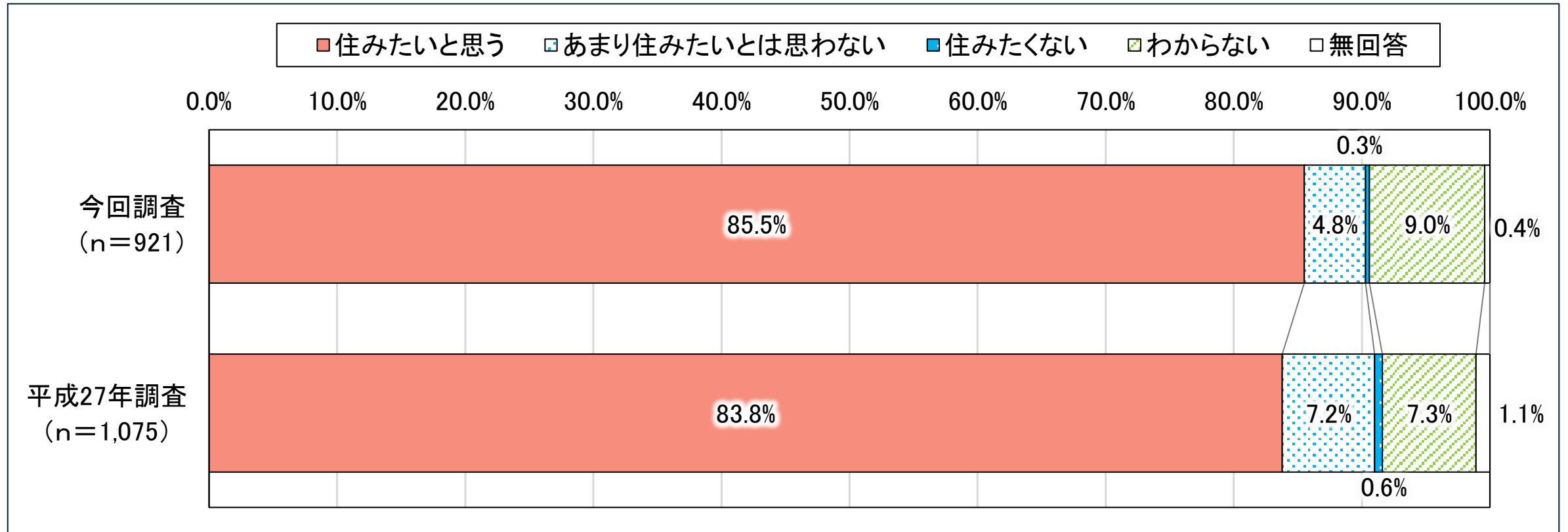
【問 12～31】区がこれまで取り組んできた施策に対する考え：子育て・学校教育・生涯学習・人権及び多様性、福祉、健康・スポーツ、防災・防犯・環境、地域の街づくり、道路・交通、産業振興、他

(2) 結果の概要

① 今後の定住意向【これからも渋谷区に住み続けたいか】（回答は1つだけ）

- ◆ 「住みたいと思う」が85.5%を占めており、平成27年調査と比べて1.7ポイント増加しています。また、「あまり住みたいとは思わない・住みたくない」は5.1%であり、平成27年調査と比べて2.7ポイント減少しています。

＜今後の定住意向＞
平成27年調査との比較

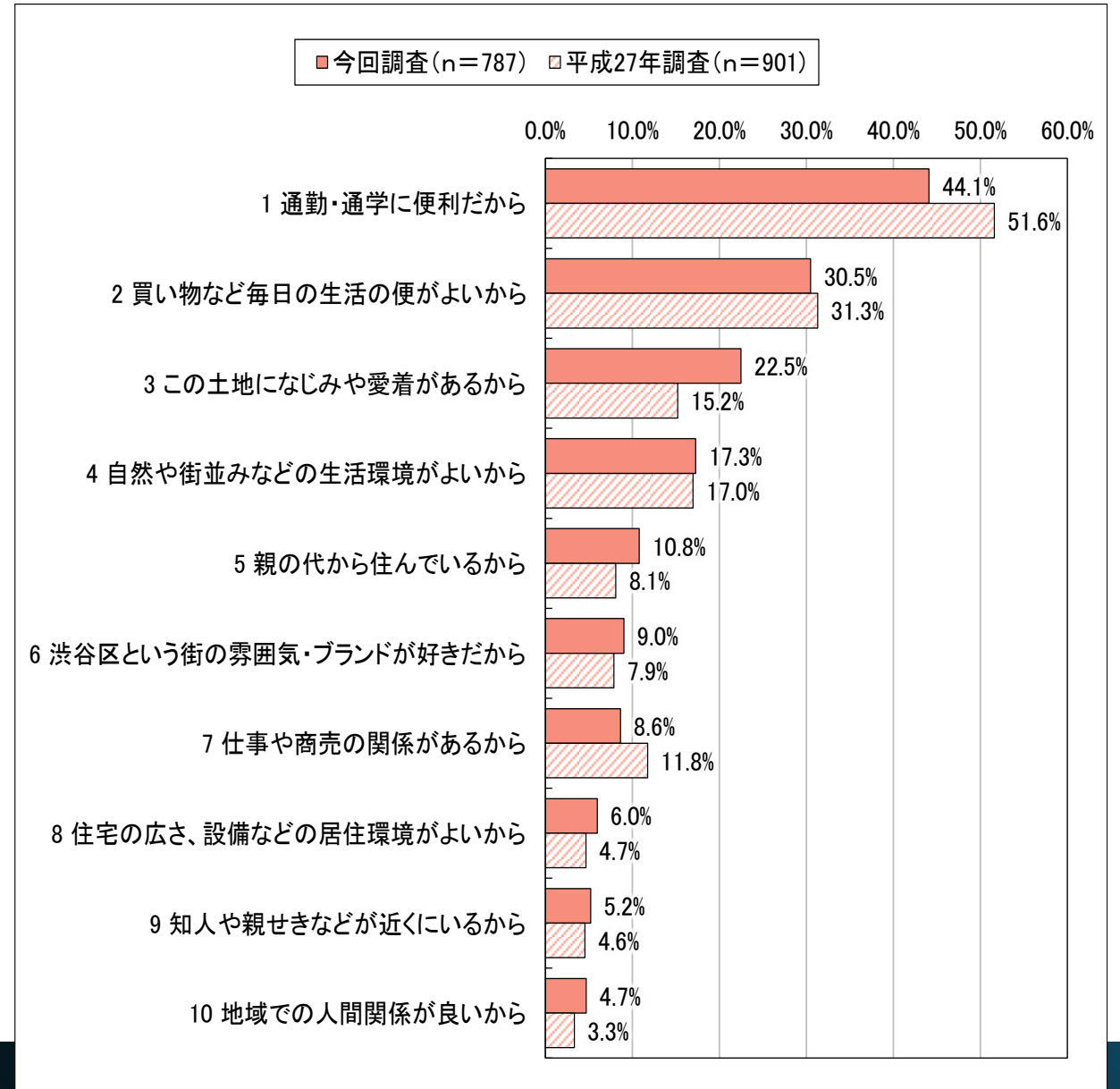


(2) 結果の概要

② 今後も住み続けたいと思う主な理由 (回答は2つまで)

- ◆ 「1 通勤・通学に便利だから」が44.1%で最も高く、次いで「2 買い物など毎日の生活の便がよいから」の30.5%、「3 この土地になじみや愛着があるから」の22.5%の順となっています。
- ◆ 平成27年調査では、「1 通勤・通学に便利だから」は51.6%と半数以上を占めていましたが、今回の調査では7.5ポイント減少しています。一方、「3 この土地になじみや愛着があるから」は、平成27年調査と比べて7.3ポイント増加しています。

<今後も住み続けたいと思う主な理由> 今回調査の上位10位、平成27年調査との比較

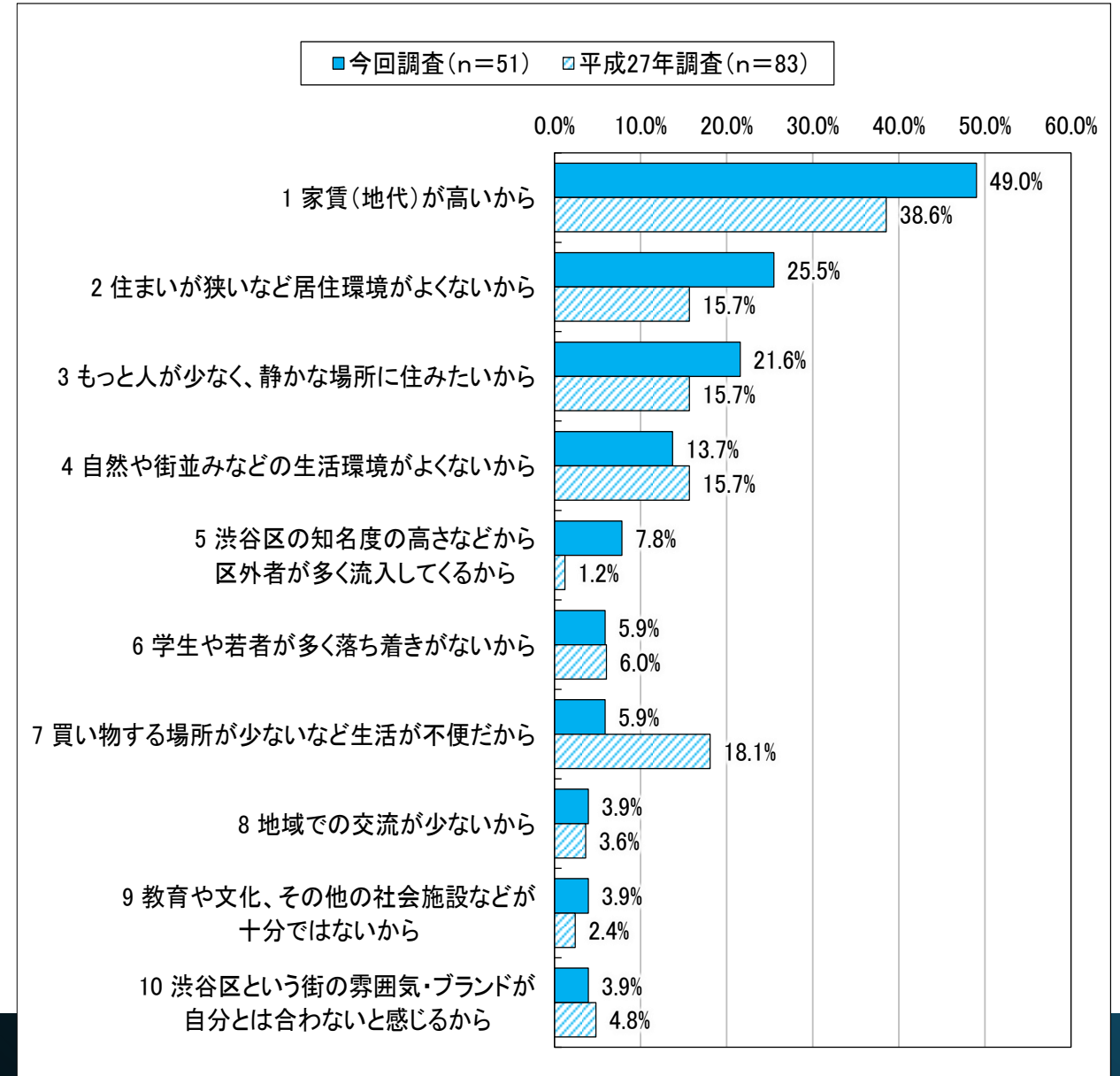


(2) 結果の概要

③ 「今後は住みたいと思わない」主な理由 (回答は2つまで)

- ◆ 「1 家賃(地代)が高いから」が49.0%で最も高く、次いで「2 住まいが狭いなど居住環境がよくないから」の25.5%、「3 もっと人が少なく、静かな場所に住みたいから」の21.6%となっています。
- ◆ 平成27年調査と比べると、「1 家賃(地代)が高いから」が10.4ポイント、「2 住まいが狭いなど居住環境がよくないから」が9.8ポイント、「3 もっと人が少なく、静かな場所に住みたいから」が5.9ポイント、それぞれ増加しています。

<今後は住みたいと思わない主な理由> 今回調査の上位10位、平成27年調査との比較

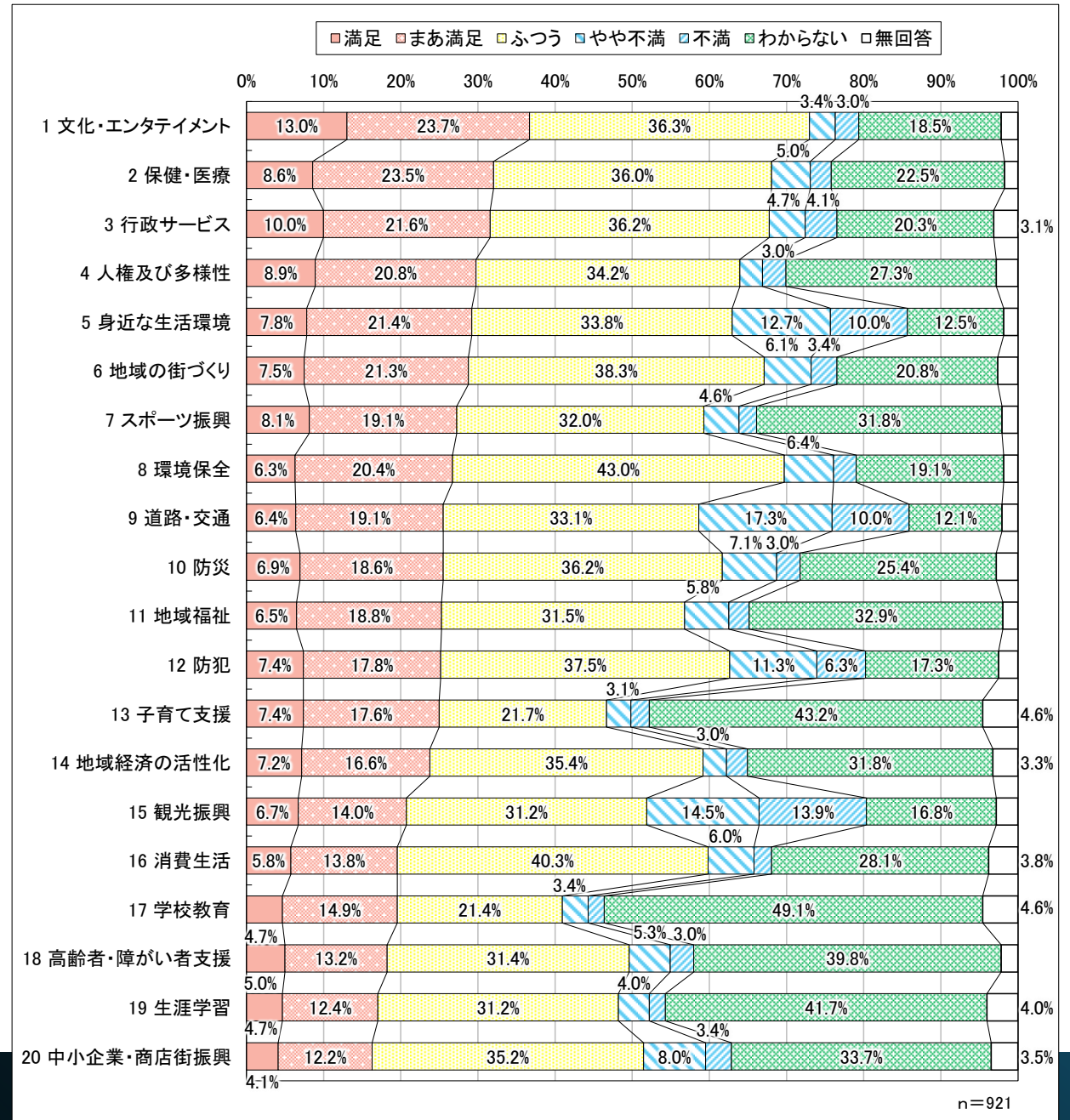


(2) 結果の概要

④ 区がこれまで取り組んできた施策に対する満足度（回答は各施策ごとに1つだけ）

- ◆ 「満足」と「まあ満足」を合わせた満足度は、「1 文化・エンタテインメント」が36.7%で最も高く、以下、「2 保健・医療」の32.0%、「3 行政サービス」の31.6%、「4 人権及び多様性」の29.8%、「5 身近な生活環境」の29.2%となっています。
- ◆ 一方、「やや不満」と「不満」を合わせた不満度は、「15 観光振興」が28.4%で最も高く、以下、「9 道路・交通」の27.3%、「5 身近な生活環境」の22.7%となっています。
- ◆ 全20施策中、「9 道路・交通」及び「15 観光振興」では満足度が不満度を下回っています。

＜施策間の満足度比較＞
「満足」と「まあ満足」を合わせた満足度の高位順



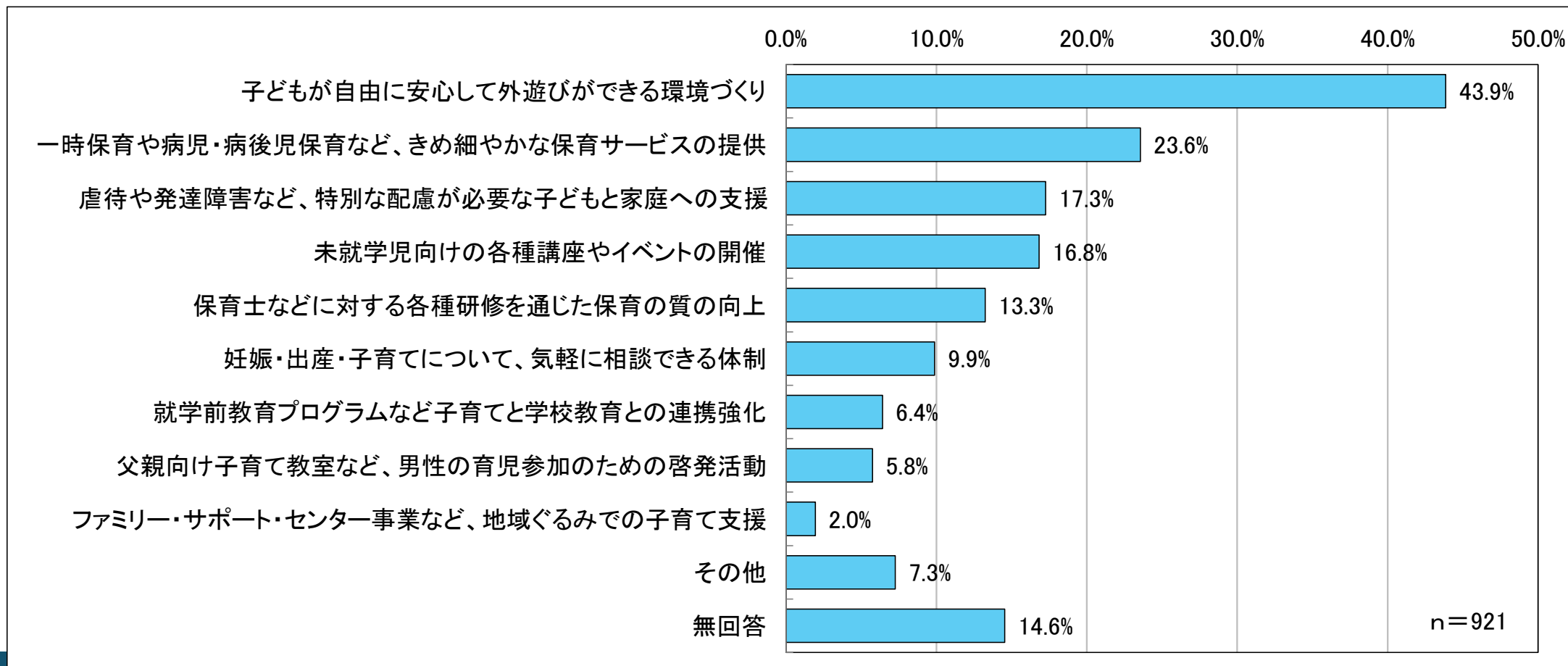
(2) 結果の概要

⑤ - 1 今後より充実を図るべき取組 (回答は2つまで、以下同様。)

【子育て支援、学校教育、生涯学習、人権及び多様性】

- ◆ 「子どもが自由に安心して外遊びができる環境づくり」が43.9%で最も高く、次いで「一時保育や病児・病後児保育など、きめ細やかな保育サービスの提供」の23.6%となっています。

< 「子育て支援」で今後より充実を図るべき取組 >

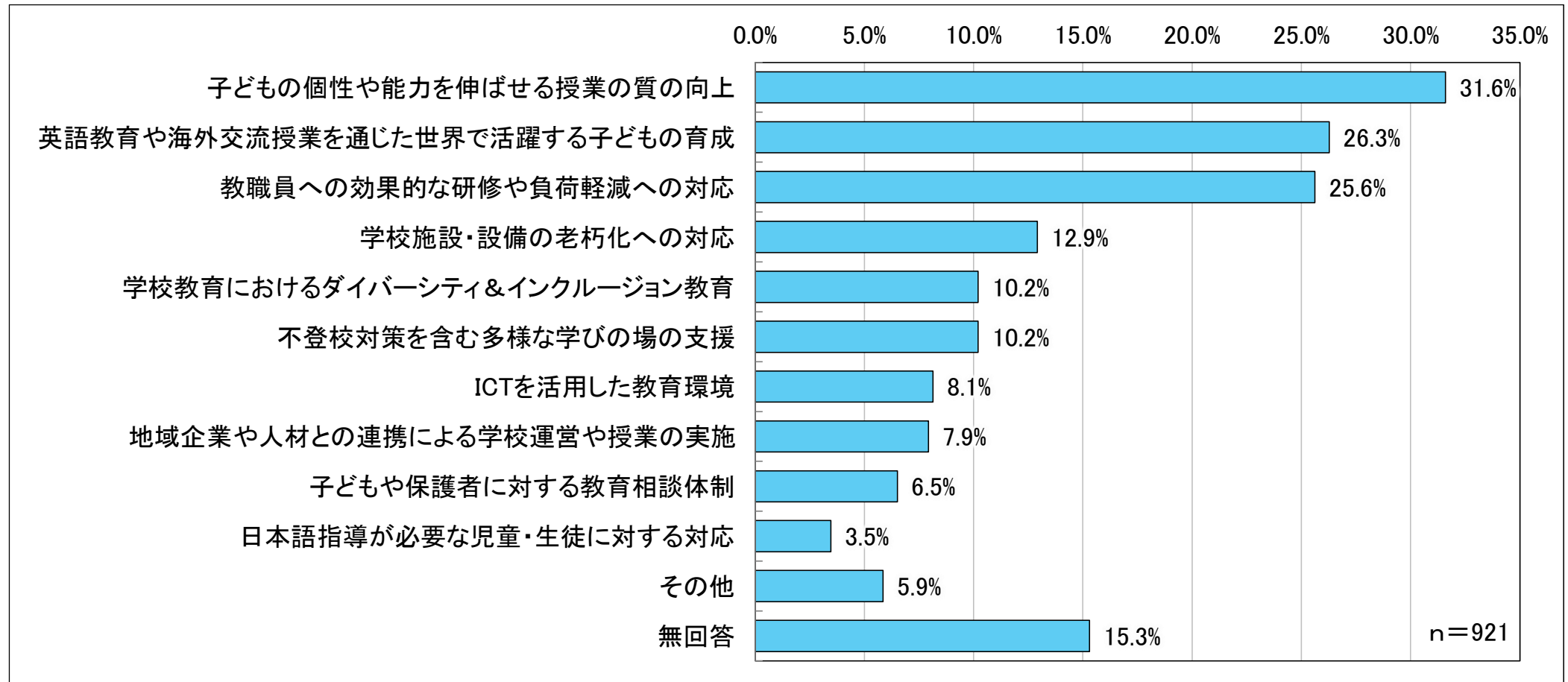


(2) 結果の概要

⑤-1 今後より充実を図るべき取組【子育て支援、学校教育、生涯学習、人権及び多様性】

- ◆ 「子どもの個性や能力を伸ばせる授業の質の向上」が31.6%で最も高く、以下、「英語教育や海外交流授業を通じた世界で活躍する子どもの育成」の26.3%、「教職員への効果的な研修や負担軽減への対応」の25.6%となっています。

<「学校教育」で今後より充実を図るべき取組>

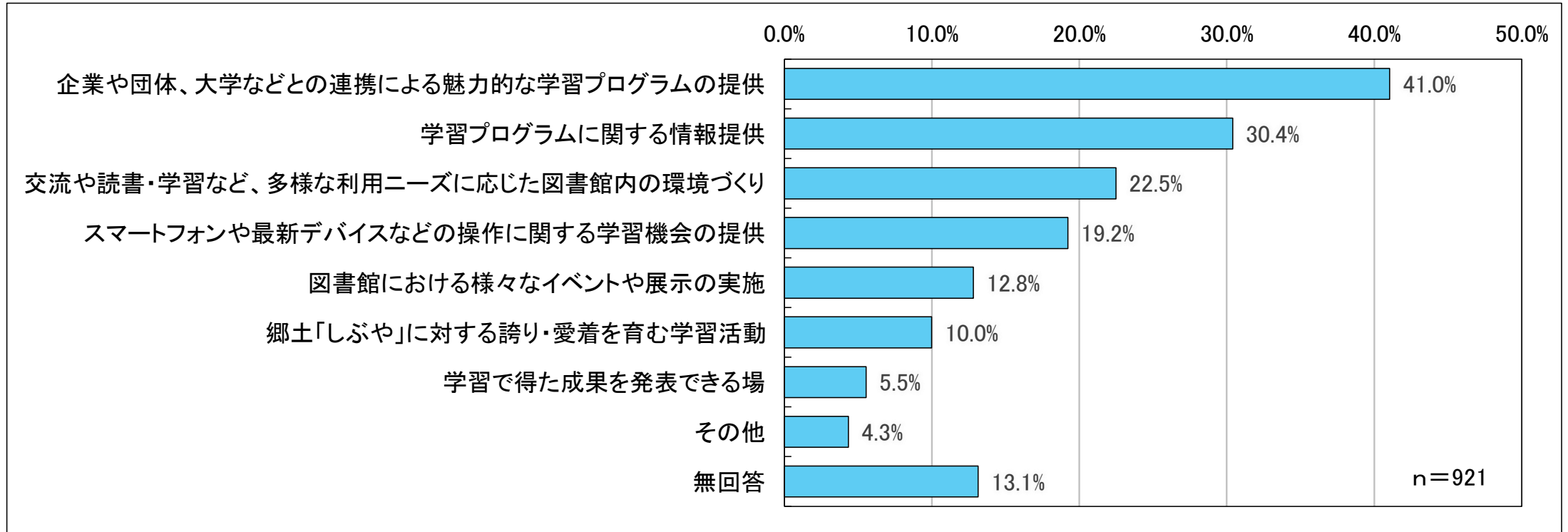


(2) 結果の概要

⑤-1 今後より充実を図るべき取組【子育て支援、学校教育、生涯学習、人権及び多様性】

- ◆ 「企業や団体、大学などとの連携による魅力的な学習プログラムの提供」が41.0%で最も高く、次いで「学習プログラムに関する情報提供」の30.4%となっています。

<「生涯学習」で今後より充実を図るべき取組>

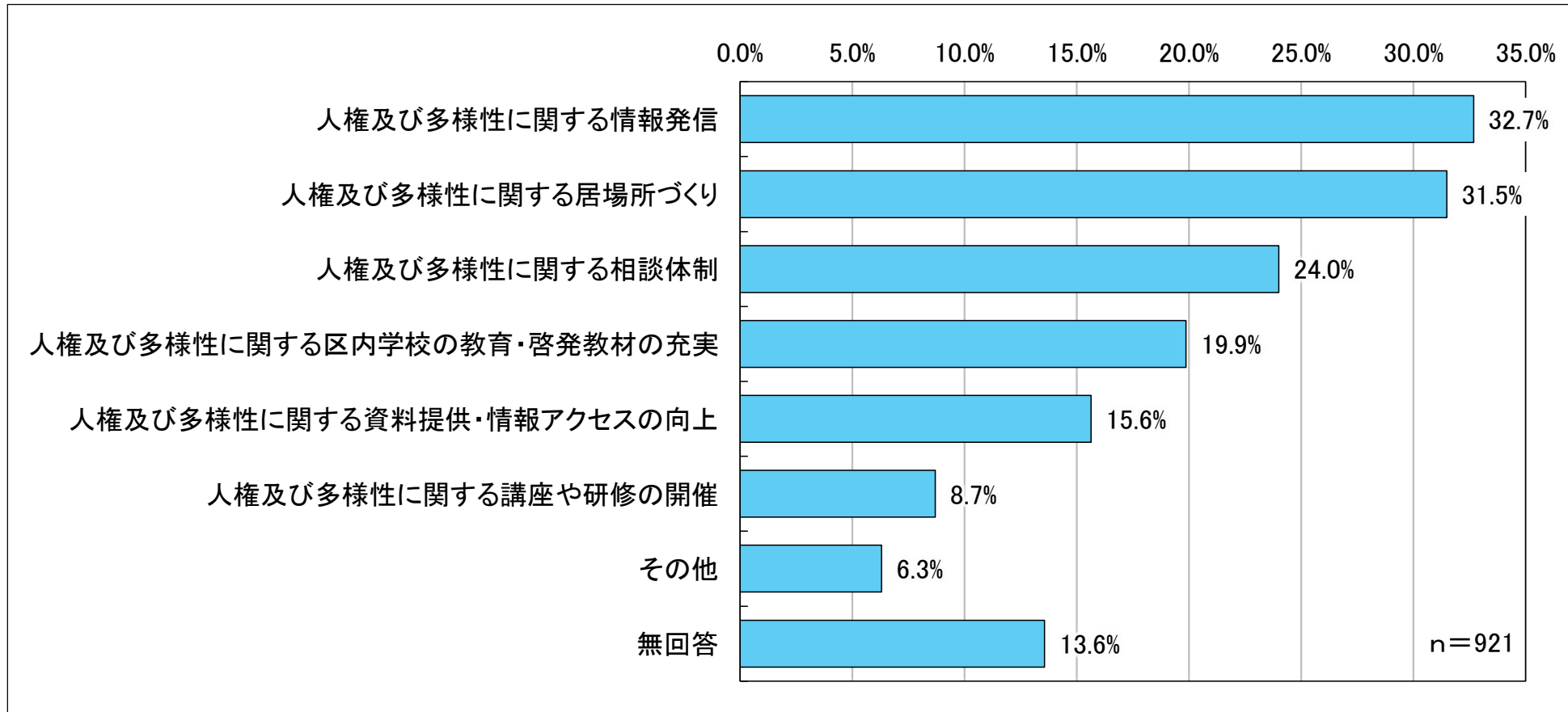


(2) 結果の概要

⑤-1 今後より充実を図るべき取組【子育て支援、学校教育、生涯学習、人権及び多様性】

- ◆ 「人権及び多様性に関する情報発信」が32.7%で最も高く、次いで「人権及び多様性に関する居場所づくり」の31.5%となっています。

<「人権及び多様性」で今後より充実を図るべき取組>

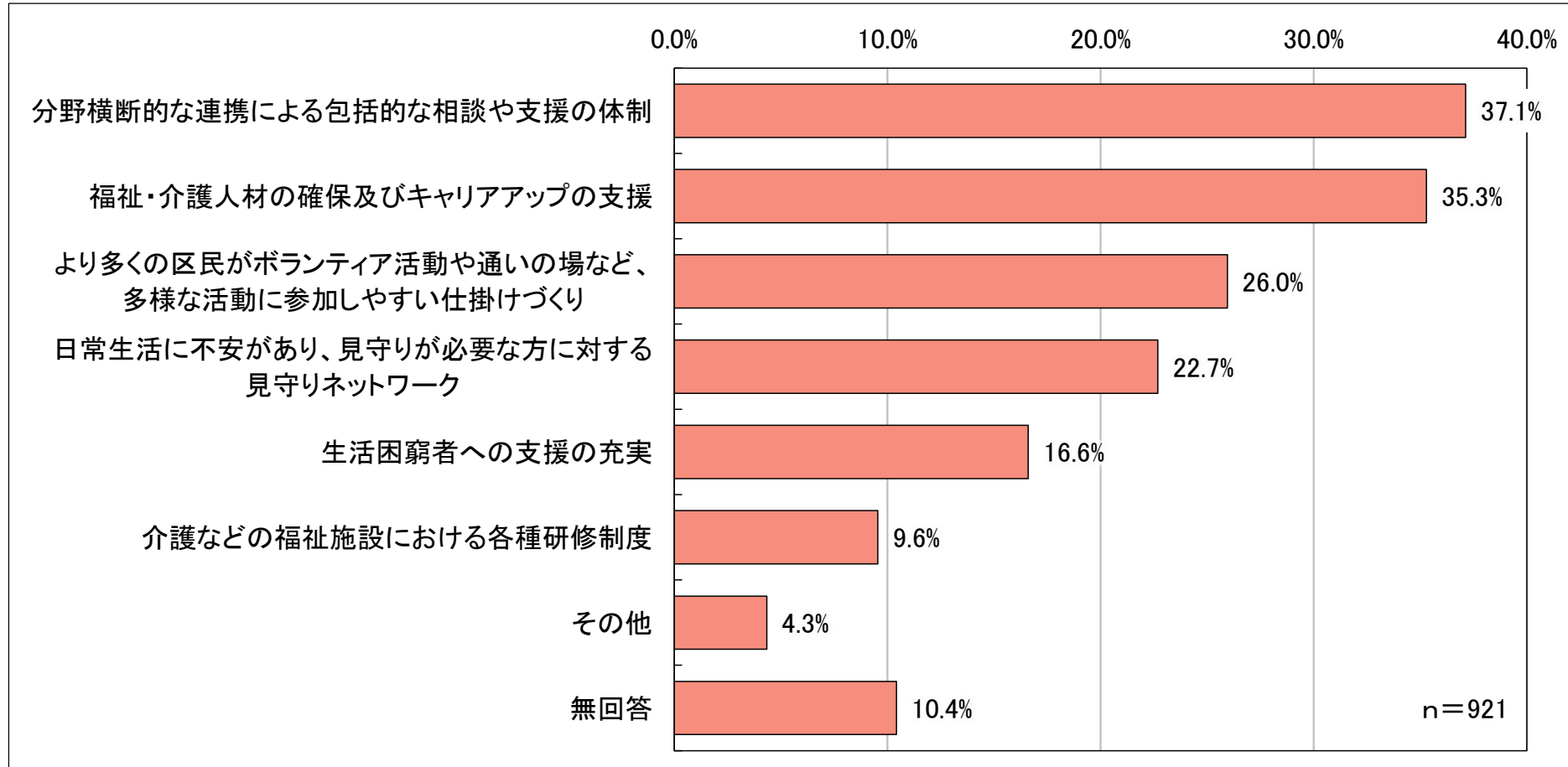


(2) 結果の概要

⑤-2 今後より充実を図るべき取組【地域福祉、高齢者・障がい者支援】

- ◆ 「分野横断的な連携による包括的な相談や支援の体制」が37.1%で最も高く、次いで「福祉・介護人材の確保及びキャリアアップの支援」の35.3%となっています。

<「地域福祉」で今後より充実を図るべき取組>

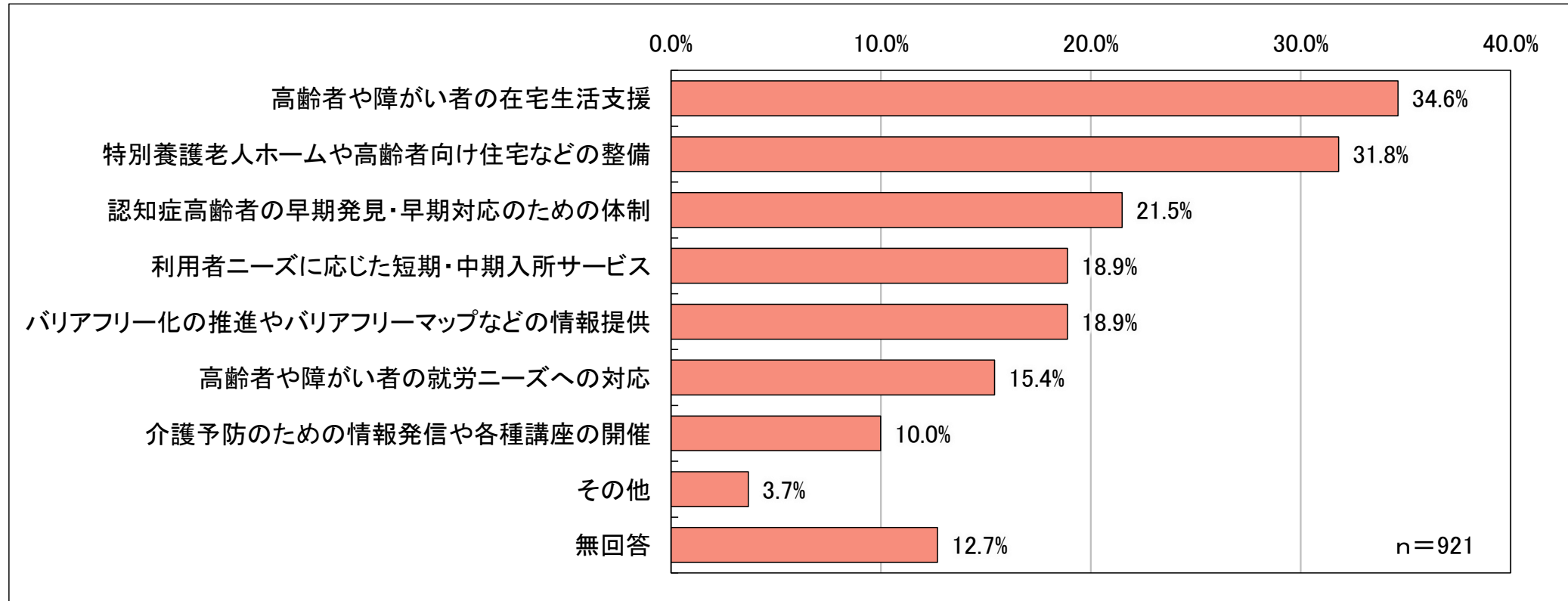


(2) 結果の概要

⑤-2 今後より充実を図るべき取組【地域福祉、高齢者・障がい者支援】

- ◆ 「高齢者や障がい者の在宅生活支援」が34.6%で最も高く、次いで「特別養護老人ホームや高齢者向け住宅などの整備」の31.8%となっています。

<「高齢者・障がい者支援」で今後より充実を図るべき取組>

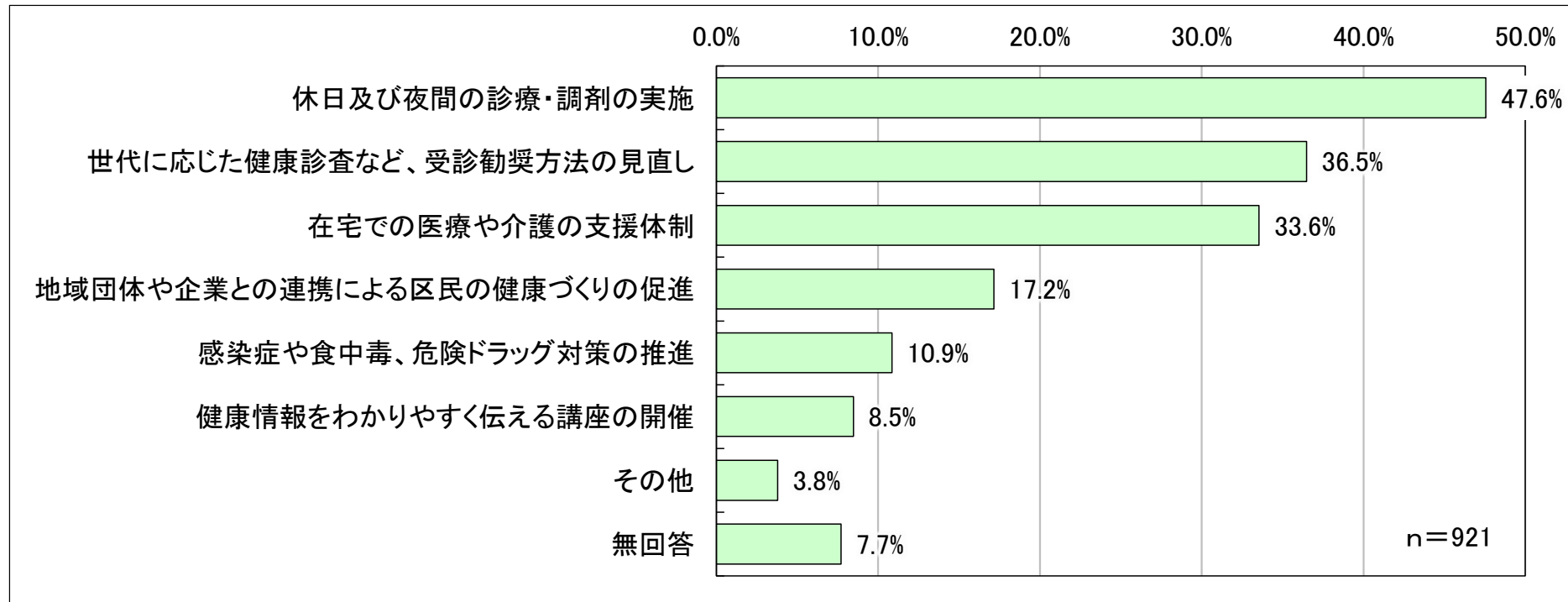


(2) 結果の概要

⑤-3 今後より充実を図るべき取組【保健・医療、スポーツ振興】

- ◆ 「休日及び夜間の診療・調剤の実施」が47.6%で最も高く、以下、「世代に応じた健康診査など、受診勧奨方法の見直し」の36.5%、「在宅での医療や介護の支援体制」の33.6%となっています。

<「保健・医療」で今後より充実を図るべき取組>

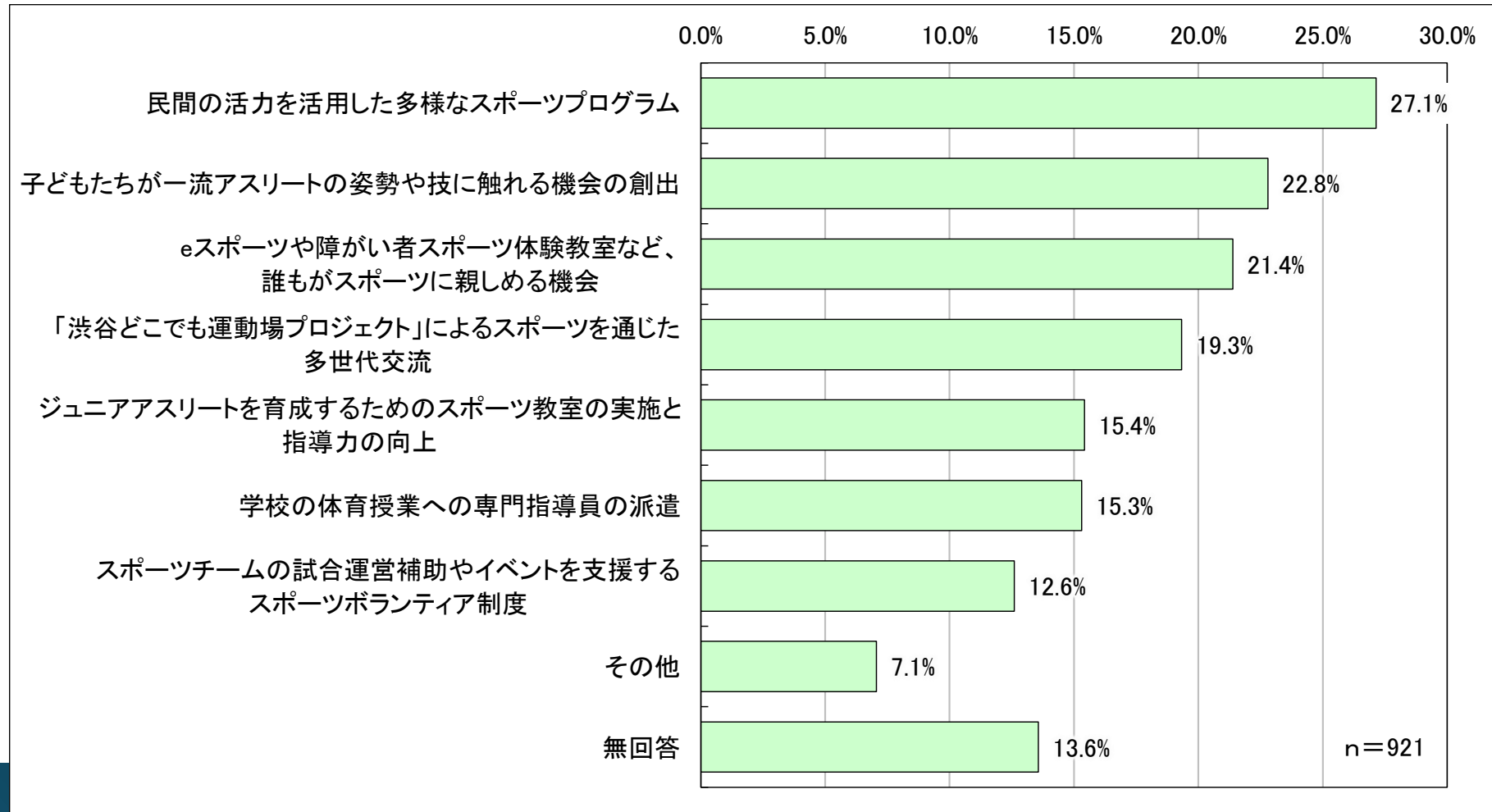


(2) 結果の概要

⑤-3 今後より充実を図るべき取組【保健・医療、スポーツ振興】

- ◆ 「民間の活力を活用した多様なスポーツプログラム」が27.1%で最も高く、以下、「子どもたちが一流アスリートの姿勢や技に触れる機会の創出」の22.8%、「eスポーツや障がい者スポーツ体験教室など、誰もがスポーツに親しめる機会」の21.4%となっています。

＜「スポーツ振興」で今後より充実を図るべき取組＞

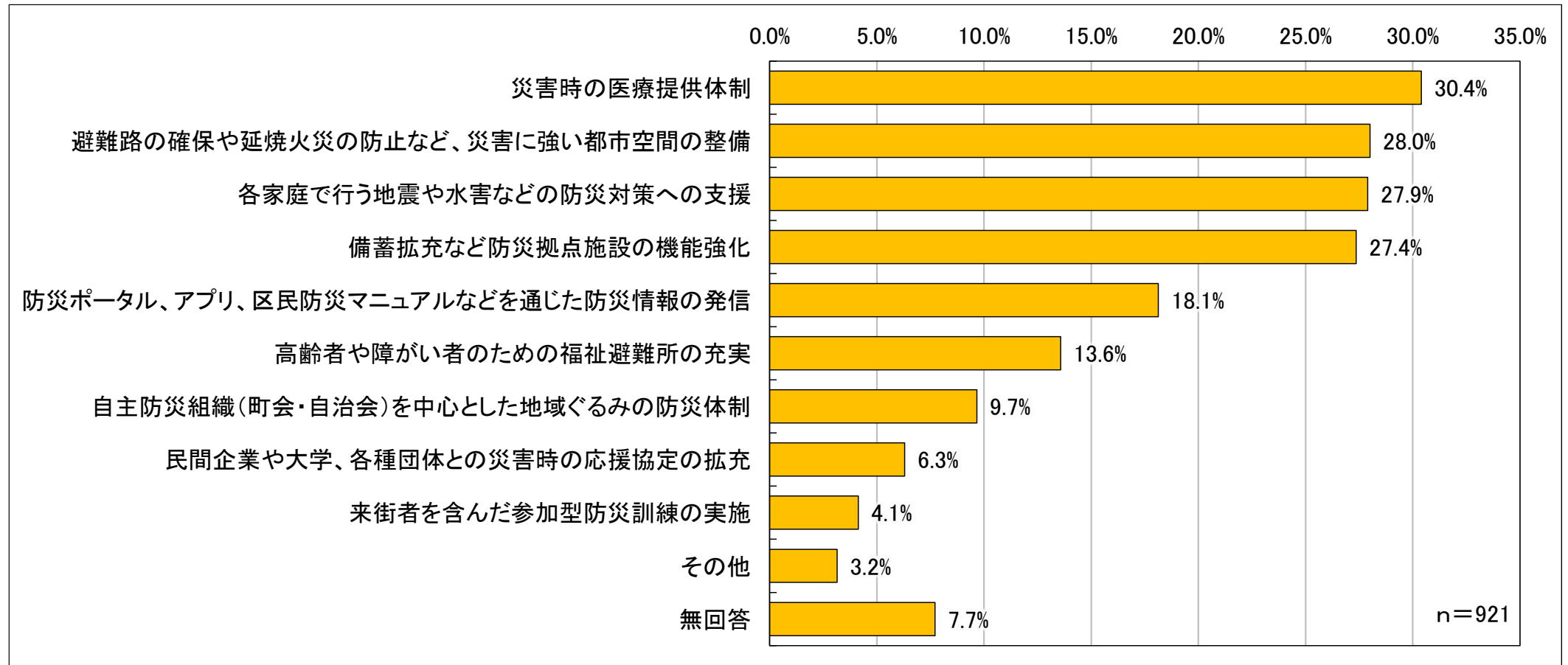


(2) 結果の概要

⑤-4 今後より充実を図るべき取組【防災、防犯、身近な生活環境、環境保全】

- ◆ 「災害時の医療提供体制」が30.4%で最も高く、以下、「避難路の確保や延焼火災の防止など、災害に強い都市空間の整備」、「各家庭で行う地震や水害などの防災対策への支援」、「備蓄拡充など防災拠点施設の機能強化」がほぼ同数で続いています。

<「防災」で今後より充実を図るべき取組>

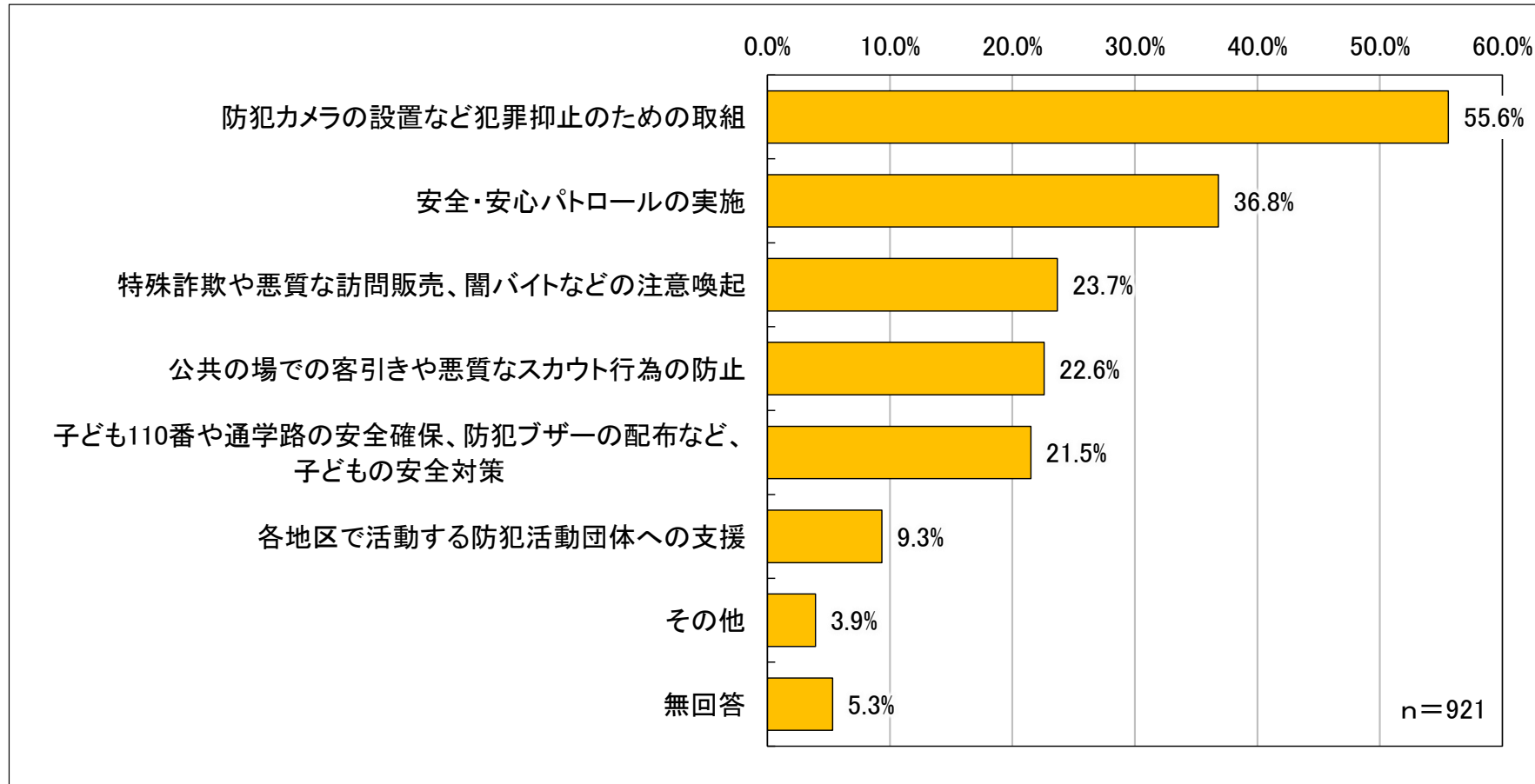


(2) 結果の概要

⑤-4 今後より充実を図るべき取組【防災、防犯、身近な生活環境、環境保全】

- ◆ 「防犯カメラの設置など犯罪抑止のための取組」が55.6%で最も高く、次いで「安全・安心パトロールの実施」の36.8%となっています。

<「防犯」で今後より充実を図るべき取組>

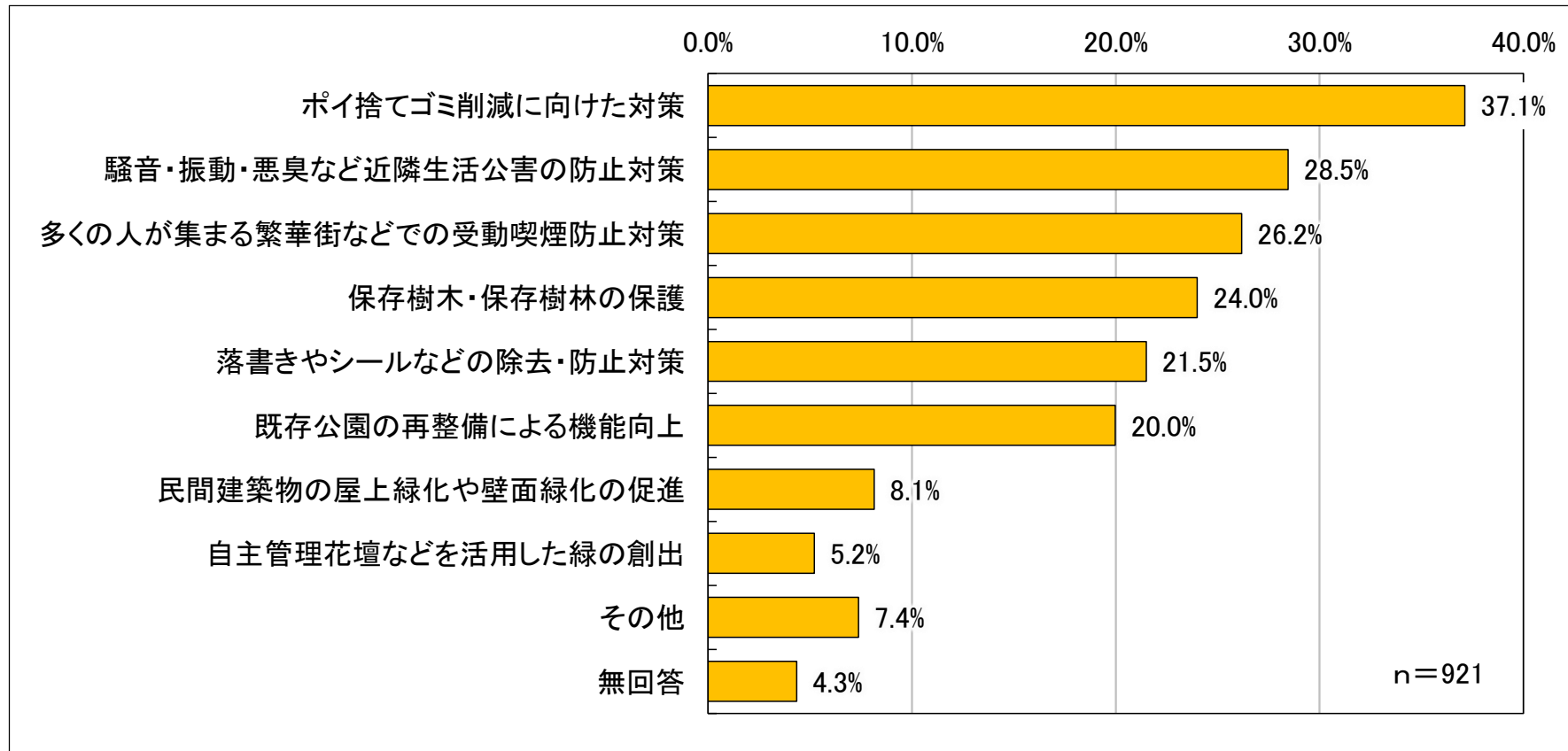


(2) 結果の概要

⑤-4 今後より充実を図るべき取組【防災、防犯、身近な生活環境、環境保全】

- ◆ 「ポイ捨てゴミ削減に向けた対策」が37.1%で最も高く、以下、「騒音・振動・悪臭など近隣生活公害の防止対策」の28.5%、「多くの人が集まる繁華街などでの受動喫煙防止対策」の26.2%、「保存樹木・保存樹林の保護」の24.0%となっています。

<「身近な生活環境」で今後より充実を図るべき取組>

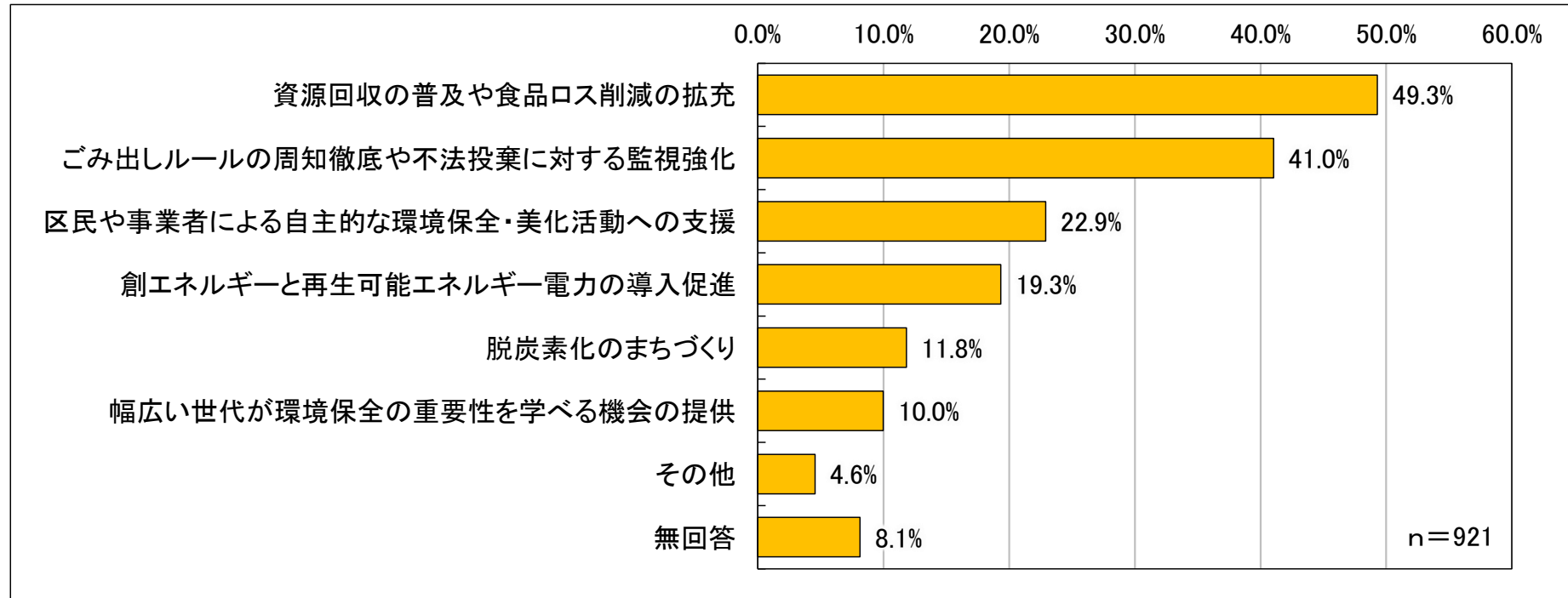


(2) 結果の概要

⑤-4 今後より充実を図るべき取組【防災、防犯、身近な生活環境、環境保全】

- ◆ 「資源回収の普及や食品ロス削減の拡充」が49.3%で最も高く、次いで「ごみ出しルールの周知徹底や不法投棄に対する監視強化」の41.0%となっています。

<「環境保全」で今後より充実を図るべき取組>

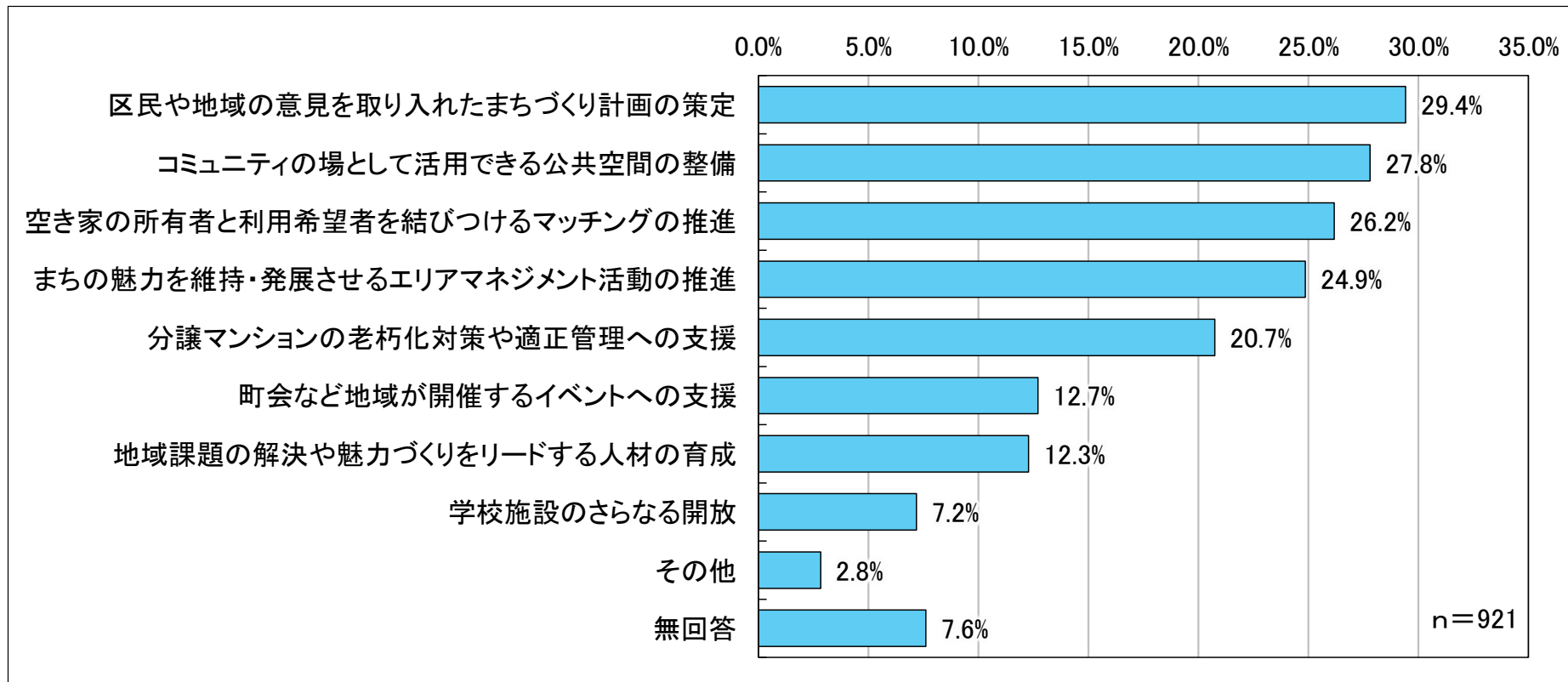


(2) 結果の概要

⑤ - 5 今後より充実を図るべき取組【地域の街づくり、道路・交通】

- ◆ 「区民や地域の意見を取り入れたまちづくり計画の策定」が29.4%で最も高く、以下、「コミュニティの場として活用できる公共空間の整備」の27.8%、「空き家の所有者と利用希望者を結びつけるマッチングの推進」の26.2%、「まちの魅力を維持・発展させるエリアマネジメント活動の推進」の24.9%となっています。

<「地域の街づくり」で今後より充実を図るべき取組>

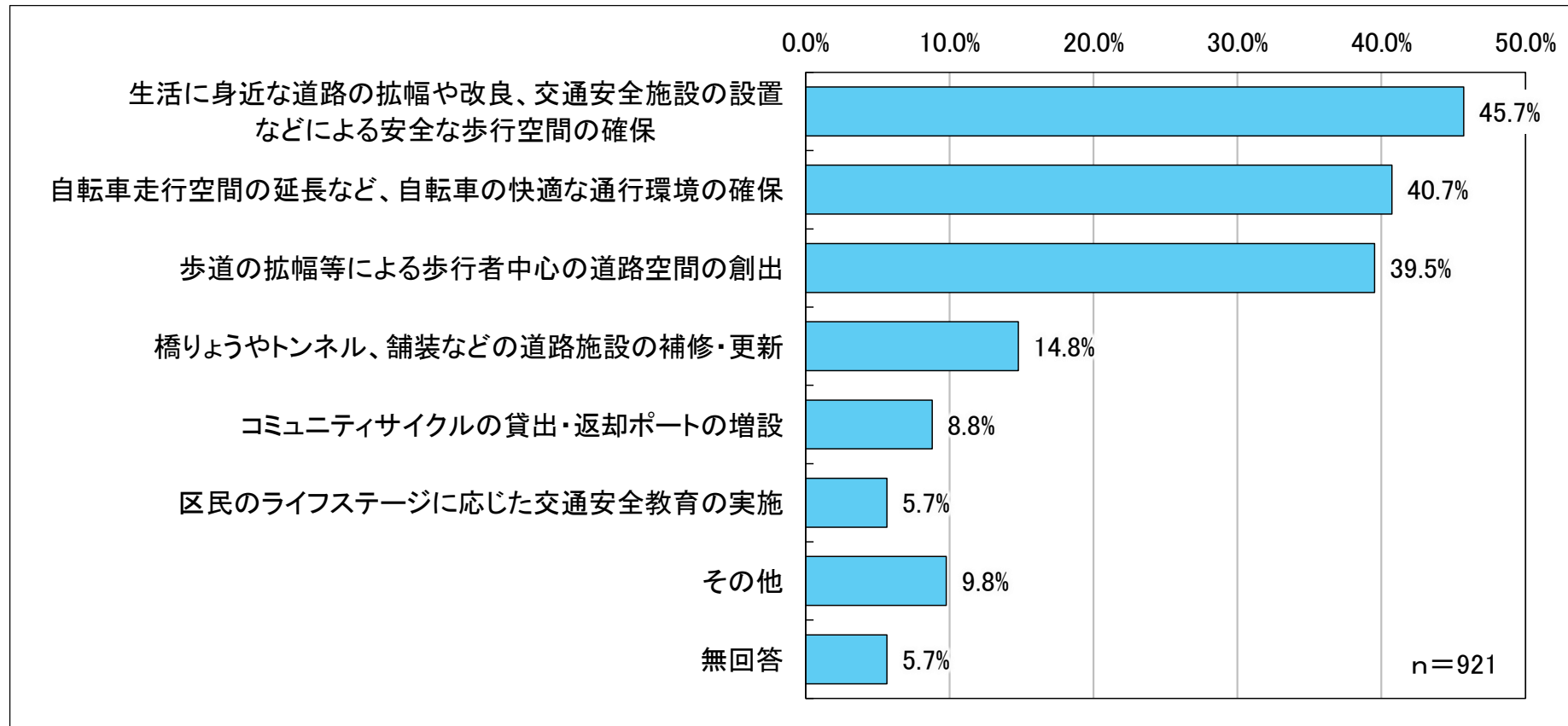


(2) 結果の概要

⑤-5 今後より充実を図るべき取組【地域の街づくり、道路・交通】

- ◆ 「生活に身近な道路の拡幅や改良、交通安全施設の設置などによる安全な歩行空間の確保」が45.7%で最も高く、以下、「自転車走行空間の延長など、自転車の快適な通行環境の確保」の40.7%、「歩道の拡幅等による歩行者中心の道路空間の創出」の39.5%となっています。

<「道路・交通」で今後より充実を図るべき取組>

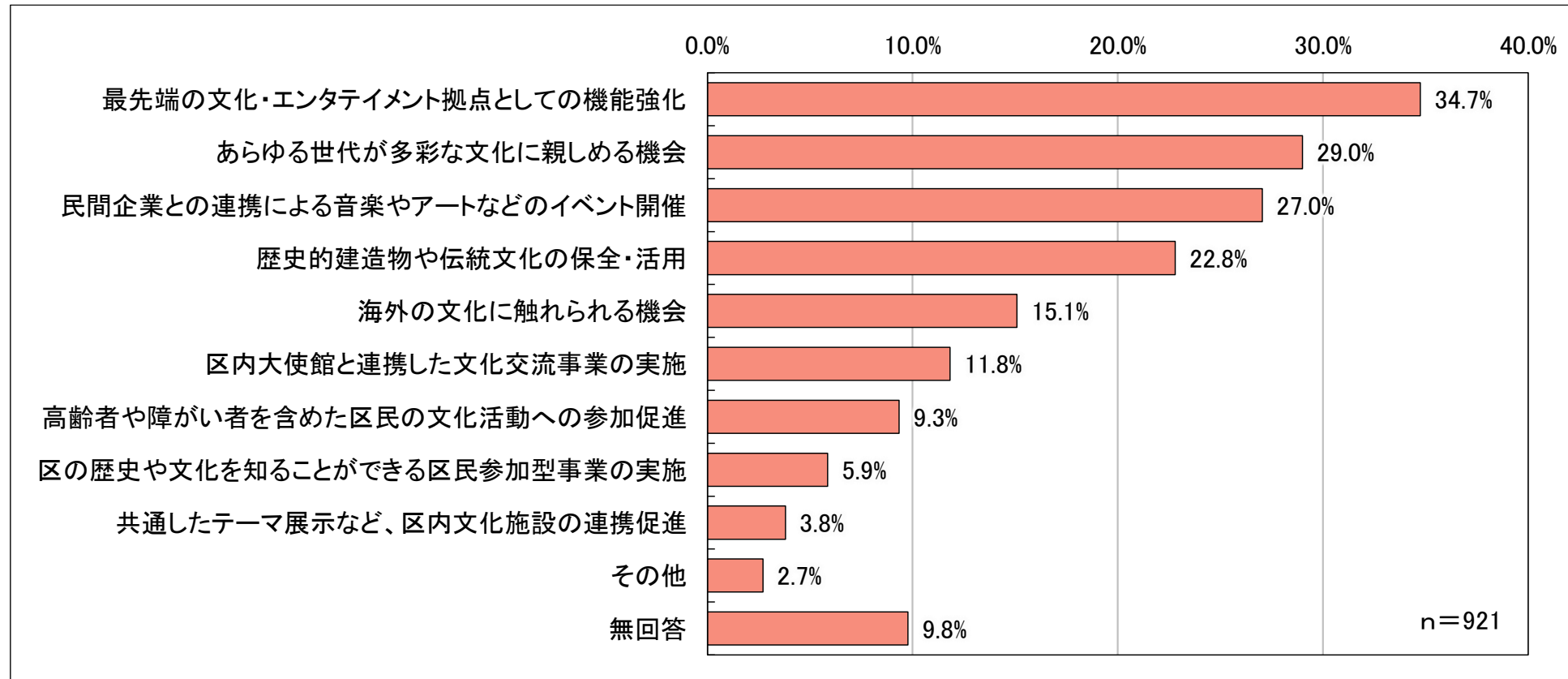


(2) 結果の概要

⑤-6 今後より充実を図るべき取組【文化・エンタテインメント】

- ◆ 「最先端の文化・エンタテインメント拠点としての機能強化」が34.7%で最も高く、以下、「あらゆる世代が多彩な文化に親しめる機会」の29.0%、「民間企業との連携による音楽やアートなどのイベント開催」の27.0%となっています。

<「文化・エンタテインメント」で今後より充実を図るべき取組>

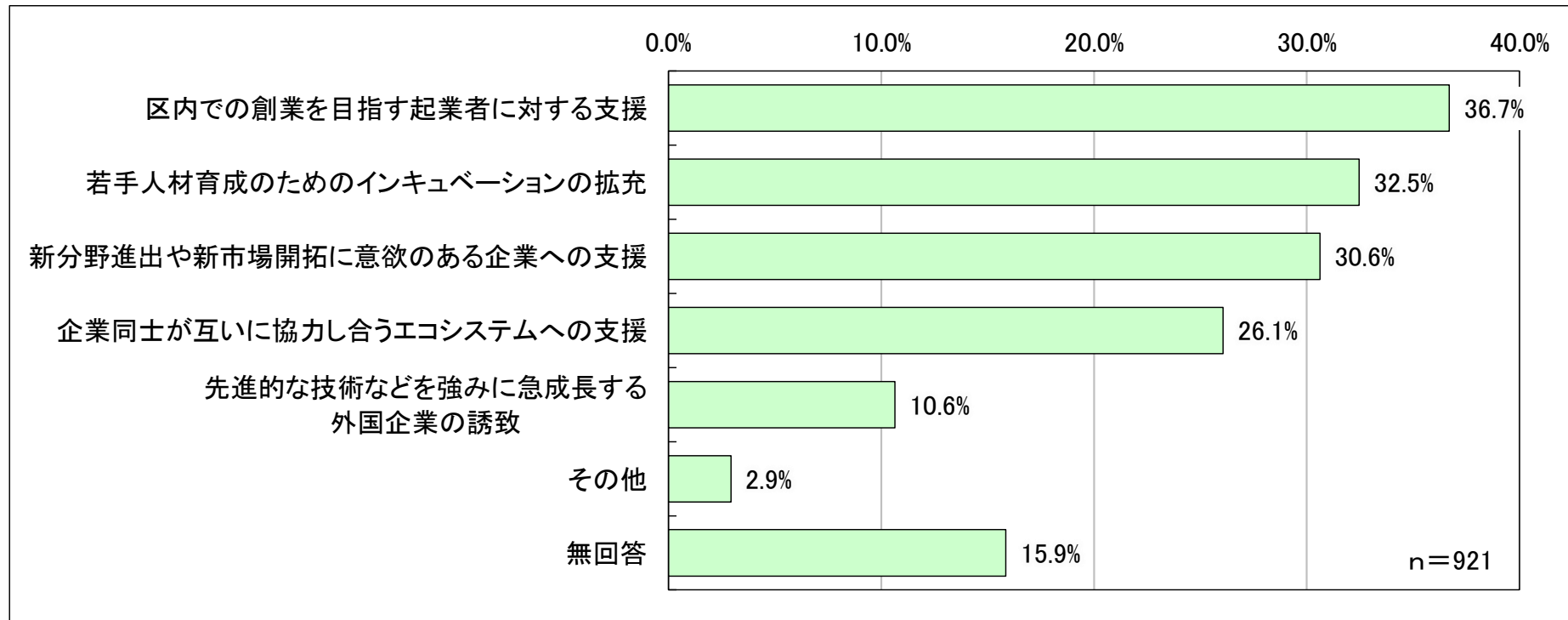


(2) 結果の概要

⑤-7 今後より充実を図るべき取組【地域経済の活性化、観光振興、中小企業・商店街振興、消費生活】

- ◆ 「区内での創業を目指す起業家に対する支援」が36.7%で最も高く、以下、「若手人材育成のためのインキュベーションの拡充」の32.5%、「新分野進出や新市場開拓に意欲のある企業への支援」の30.6%となっています。

<「地域経済の活性化」で今後より充実を図るべき取組>

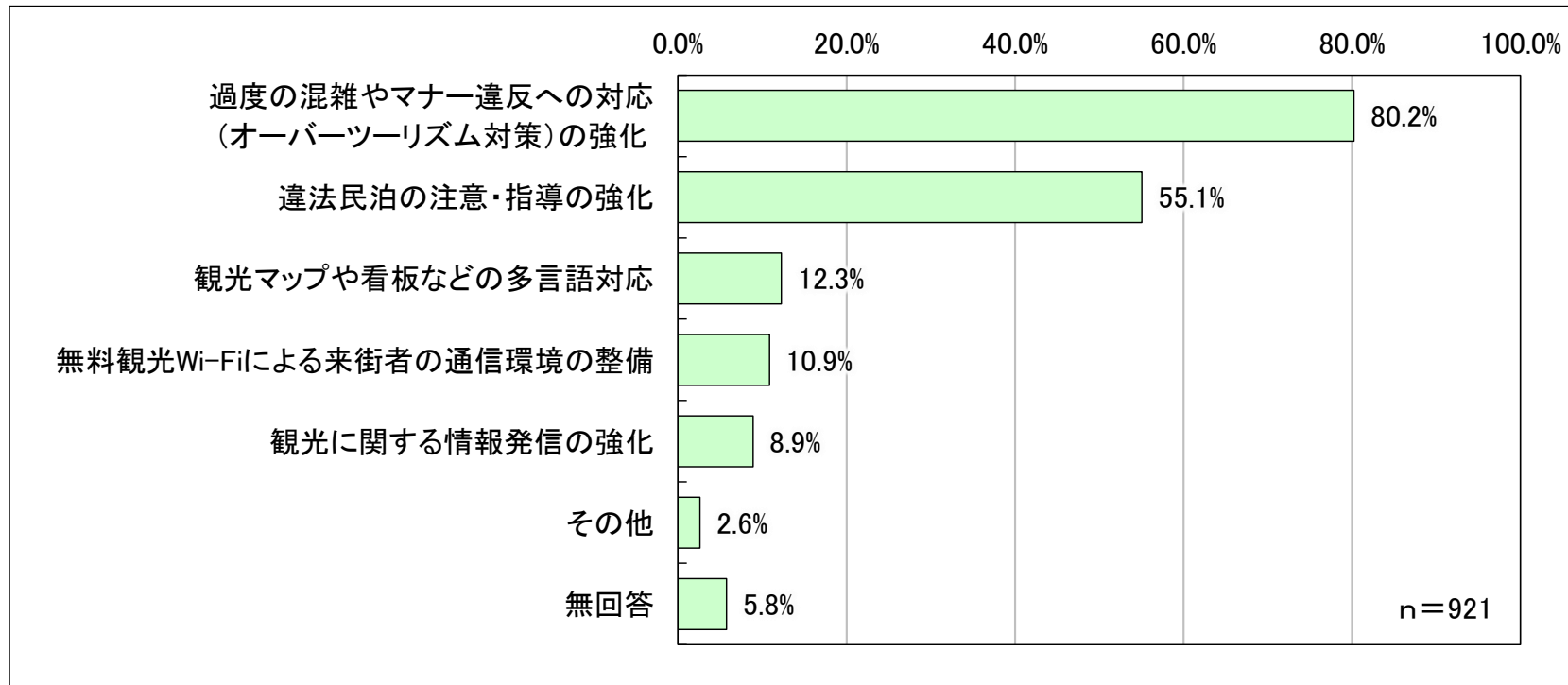


(2) 結果の概要

⑤-7 今後より充実を図るべき取組【地域経済の活性化、観光振興、中小企業・商店街振興、消費生活】

- ◆ 「過度の混雑やマナー違反への対応（オーバーツーリズム対策）の強化」が80.2%で最も高く、次いで「違法民泊の注意・指導の強化」の55.1%となっています。

<「観光振興」で今後より充実を図るべき取組>

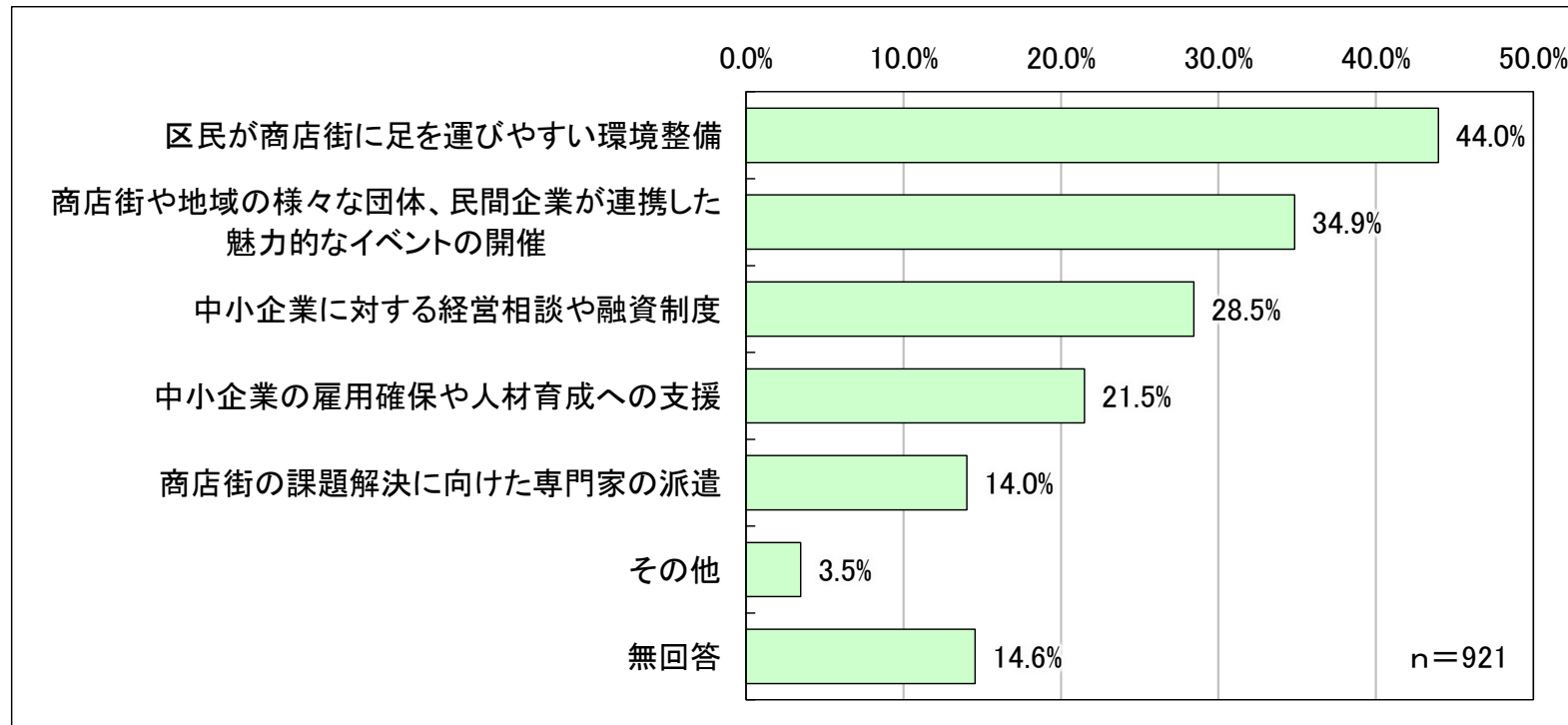


(2) 結果の概要

⑤-7 今後より充実を図るべき取組【地域経済の活性化、観光振興、中小企業・商店街振興、消費生活】

- ◆ 「区民が商店街に足を運びやすい環境整備」が44.0%で最も高く、次いで「商店街や地域の様々な団体、民間企業が連携した魅力的なイベントの開催」の34.9%となっています。

<「中小企業・商店街振興」で今後より充実を図るべき取組>

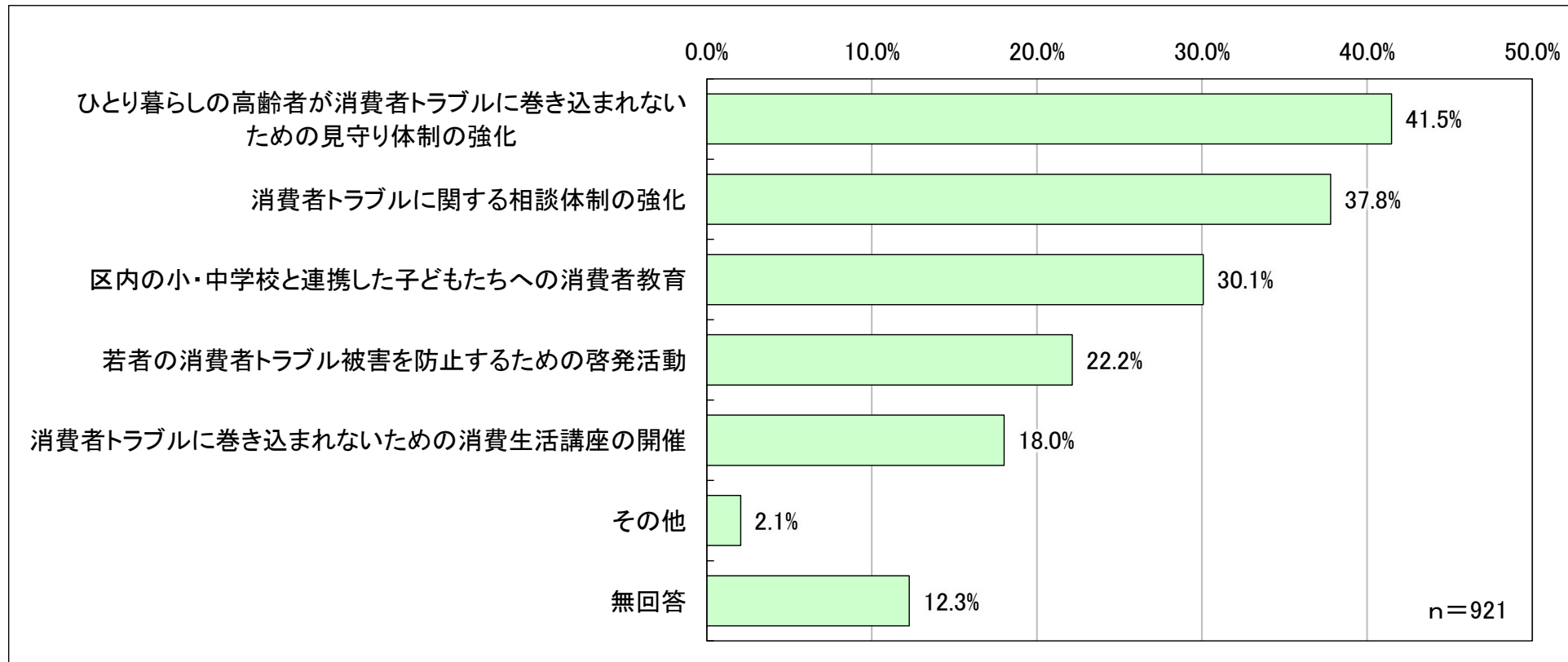


(2) 結果の概要

⑤-7 今後より充実を図るべき取組【地域経済の活性化、観光振興、中小企業・商店街振興、消費生活】

- ◆ 「ひとり暮らしの高齢者が消費者トラブルに巻き込まれないための見守り体制の強化」が41.5%で最も高く、次いで「消費者トラブルに関する相談体制の強化」の37.8%となっています。

<「消費生活」で今後より充実を図るべき取組>

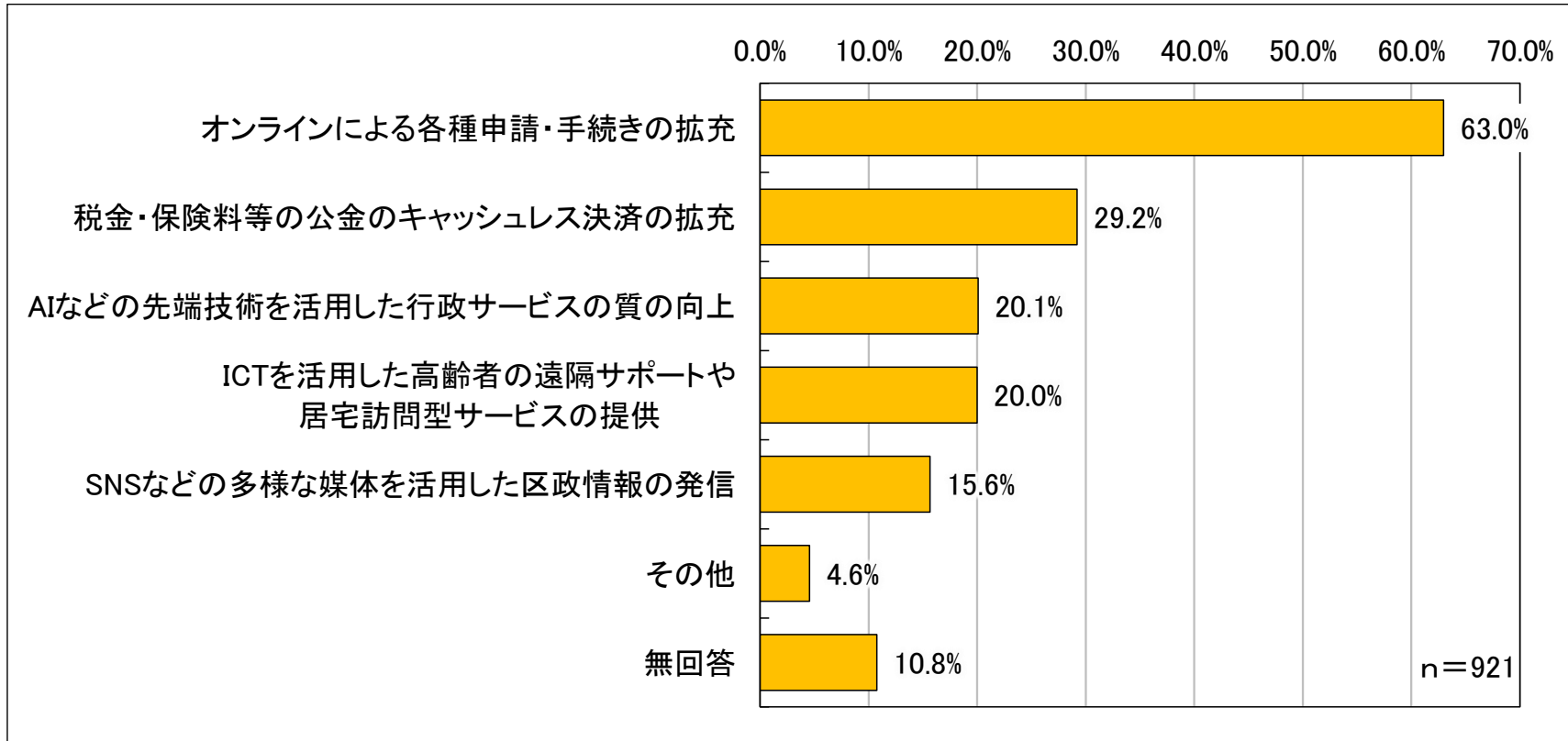


(2) 結果の概要

⑤ - 8 今後より充実を図るべき取組【行政サービス】

- ◆ 「オンラインによる各種申請・手続きの拡充」が63.0%で、それ以外の取組の回答率を大きく上回っています。

< 「行政サービス」で今後より充実を図るべき取組 >



2 在勤者アンケート調査

(1) 調査の概要

① 調査の目的

- ◆ 渋谷区に在勤する方の区への愛着度や改善すべきところなどを把握し、今回策定する長期基本計画の基礎資料とすることを目的に実施したものです。

② 調査の対象、実施方法・期間

調査対象	以下の条件に該当する18歳以上の対象者1,000人 ① これまでに渋谷区に住んだことが無い ② 現在、渋谷区内の勤務先に通勤しており、かつこれまで2年以上、渋谷区内の勤務先で仕事に従事 ③ 現在、渋谷区内の勤務先に週1回以上通勤 ④ 1都3県(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)の居住者
実施方法	WEB調査会社の登録モニターへのインターネット方式によるアンケート調査
実施期間	令和7年12月12日～12月15日

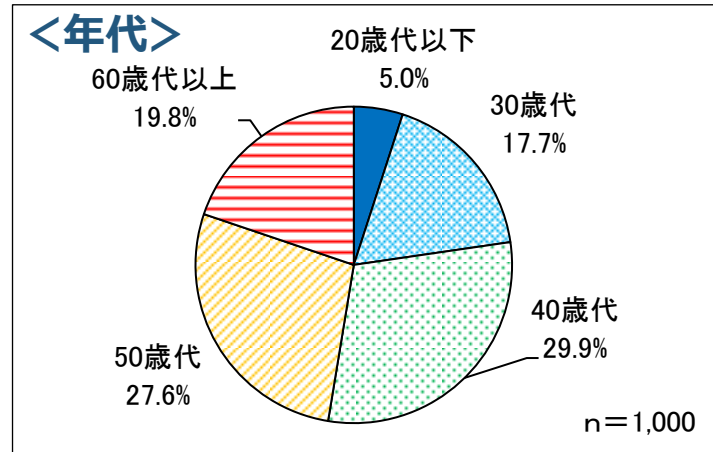
③ 設問の構成

- 【1 回答者の属性】 年代、居住地、渋谷区内での現在の勤務状況、他
- 【2 渋谷区の印象】 渋谷区への愛着、渋谷区の「良いところ」、現在の渋谷区の「改善すべきところ」、他
- 【3 渋谷区への居住意向】 渋谷区に住んでみたいと思うか、他
- 【4 渋谷区での行動】 仕事が休みの日に主にどのような用事で立ち寄ることが多いか、他
- 【5 勤務先で大規模災害が発生した場合の対応】 帰宅困難者対策の取組のうち知っているもの、他

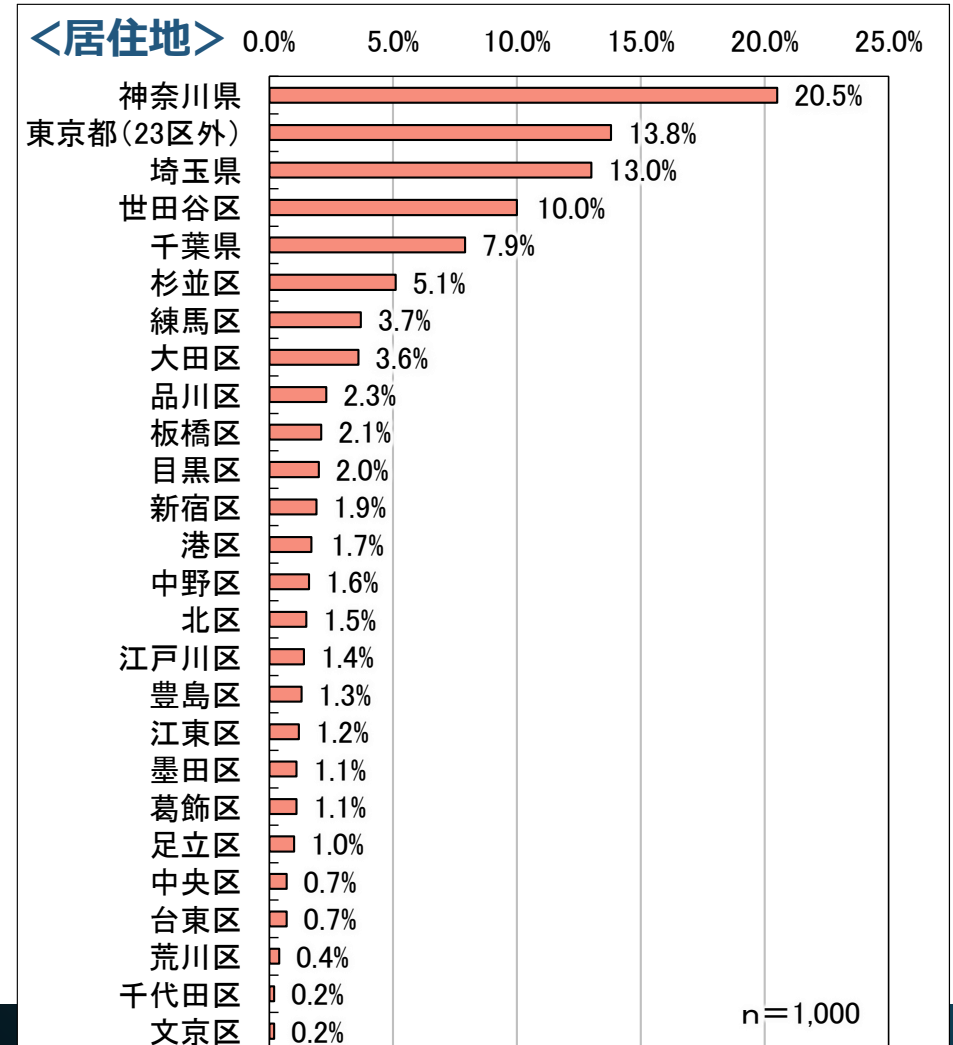
(2) 結果の概要

①回答者の属性【年代、居住地】

- ◆年代では、「40歳代」が29.9%で最も多く、以下、「50歳代」の27.6%、「60歳代以上」の19.8%、「30歳代」の17.7%となっています。



- ◆居住地では、「神奈川県」が20.5%で最も多く、以下、「東京都(23区外)」の13.8%、埼玉県の13.0%であり、これらの合計が全体の47.3%を占めています。
- ◆また、本区を除いた「東京都区部」は合計44.8%となっています。

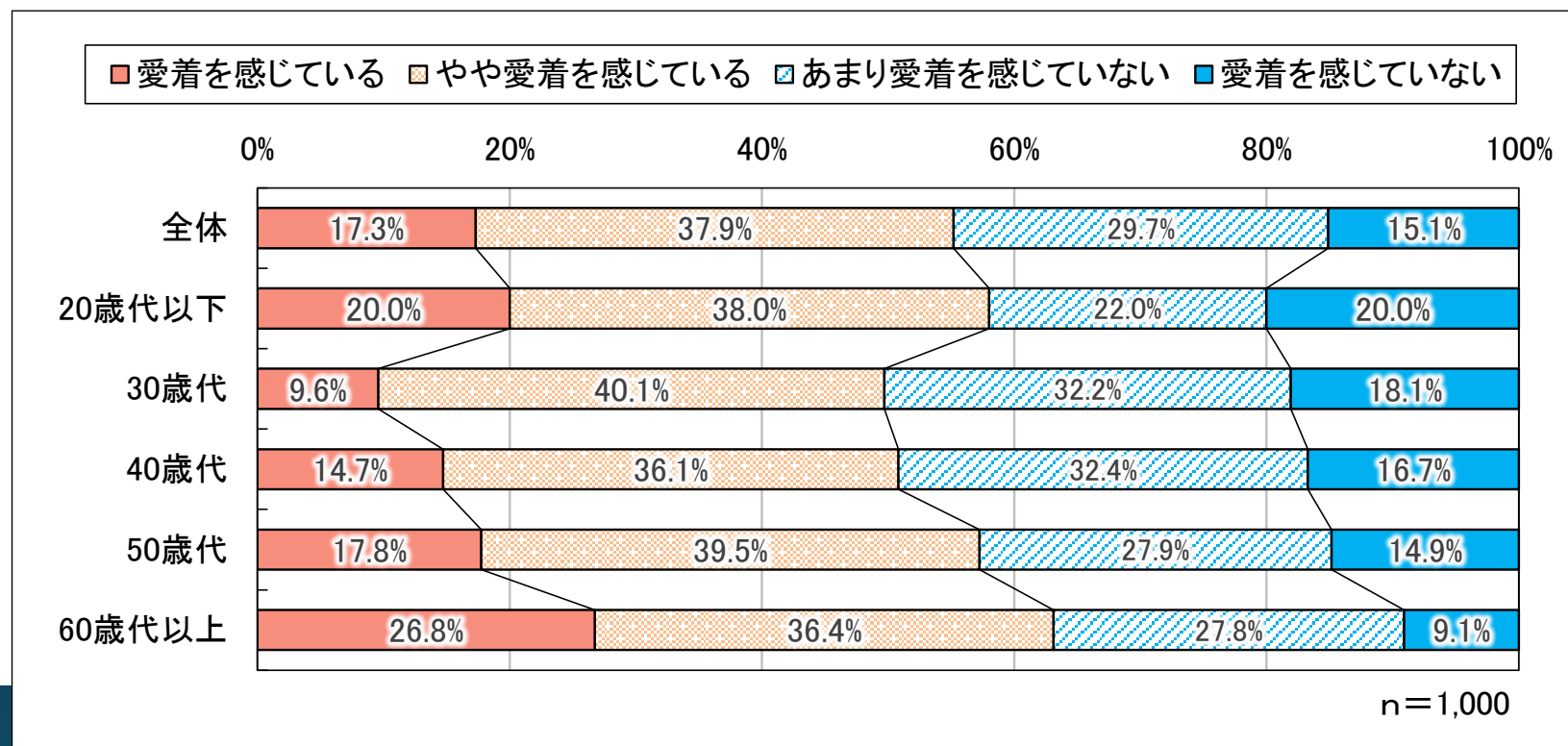


(2) 結果の概要

② 渋谷区への愛着 (回答は1つだけ)

- ◆ 全体では、「愛着を感じている (愛着を感じている・やや愛着を感じているの合計、以下同様。)」が55.2%で、「愛着を感じていない (あまり愛着を感じていない・愛着を感じていないの合計、以下同様。)」の44.8%を10.4ポイント上回っています。
- ◆ 年代別にみると、「愛着を感じている」は、60歳代以上が63.1%で最も高く、以下、20歳代以下の58.0%、50歳代の57.2%となっています。
- ◆ 「愛着を感じていない」では、30歳代が50.3%、40歳代が49.2%で他の年代と比べて高くなっています。

<渋谷区への愛着>

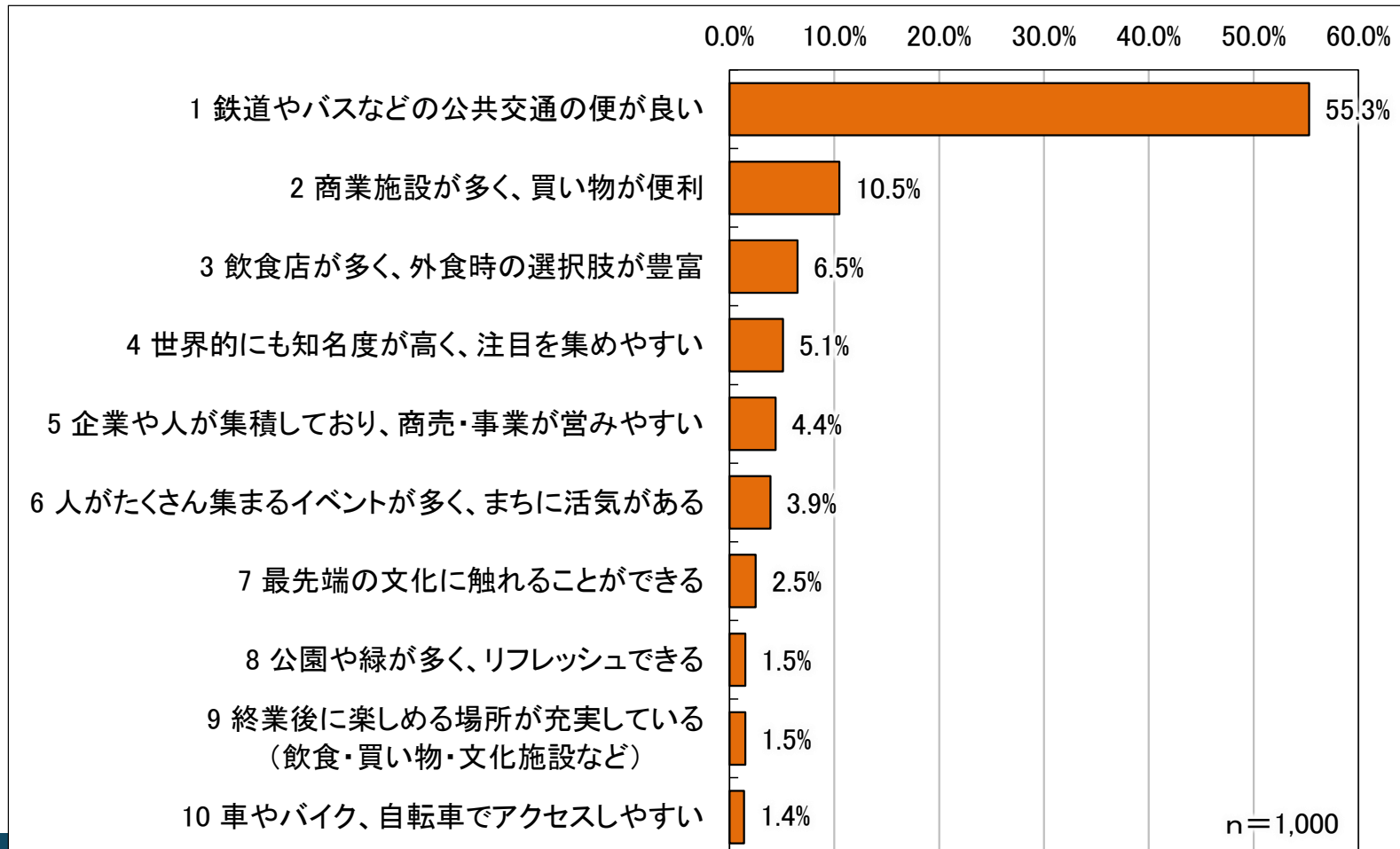


(2) 結果の概要

③ 渋谷区の「良いところ」(回答は5つまで)

- ◆ 「1 鉄道やバスなどの公共交通の便が良い」が55.3%で最も高く、「2 商業施設が多く、買い物が便利」が10.5%でこれに次いでおり、交通や買い物の利便性が高く評価されています。

<渋谷区の「良いところ」※> 上位10番目まで



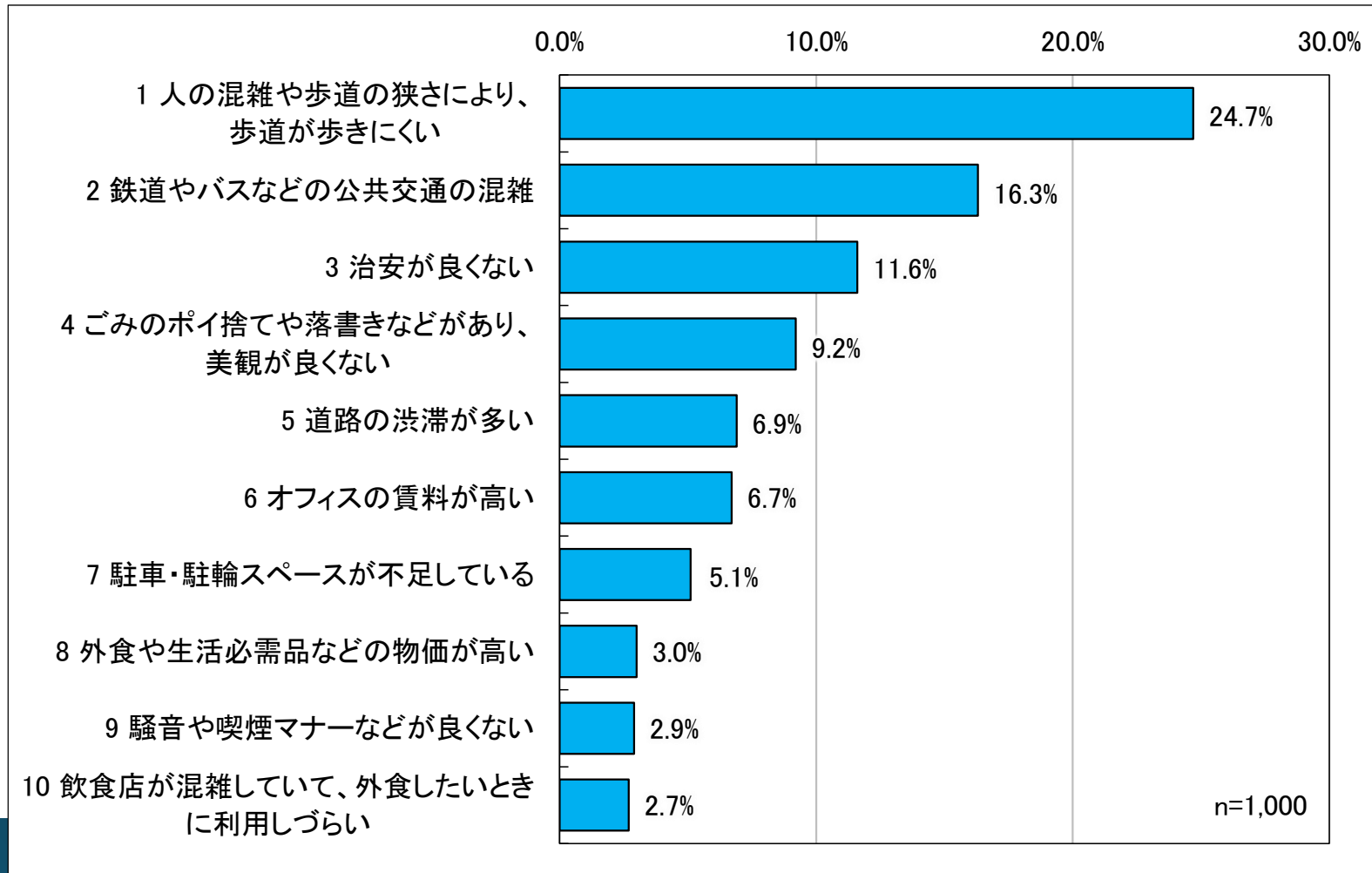
※この設問では、「良いところ」の上位1位から5位までを回答していただいている。
※左記のグラフは、このうち上位1位に挙げられた選択肢を対象としている。

(2) 結果の概要

④現在の渋谷区の「改善すべきところ」(回答は5つまで)

- ◆ 「1 人の混雑や歩道の狭さにより、歩道が歩きにくい」が24.7%で最も高く、以下、「2 鉄道やバスなどの公共交通の混雑」の16.3%、「3 治安が良くない」の11.6%となっています。

＜現在の渋谷区の「改善すべきところ」※＞
上位10番目まで



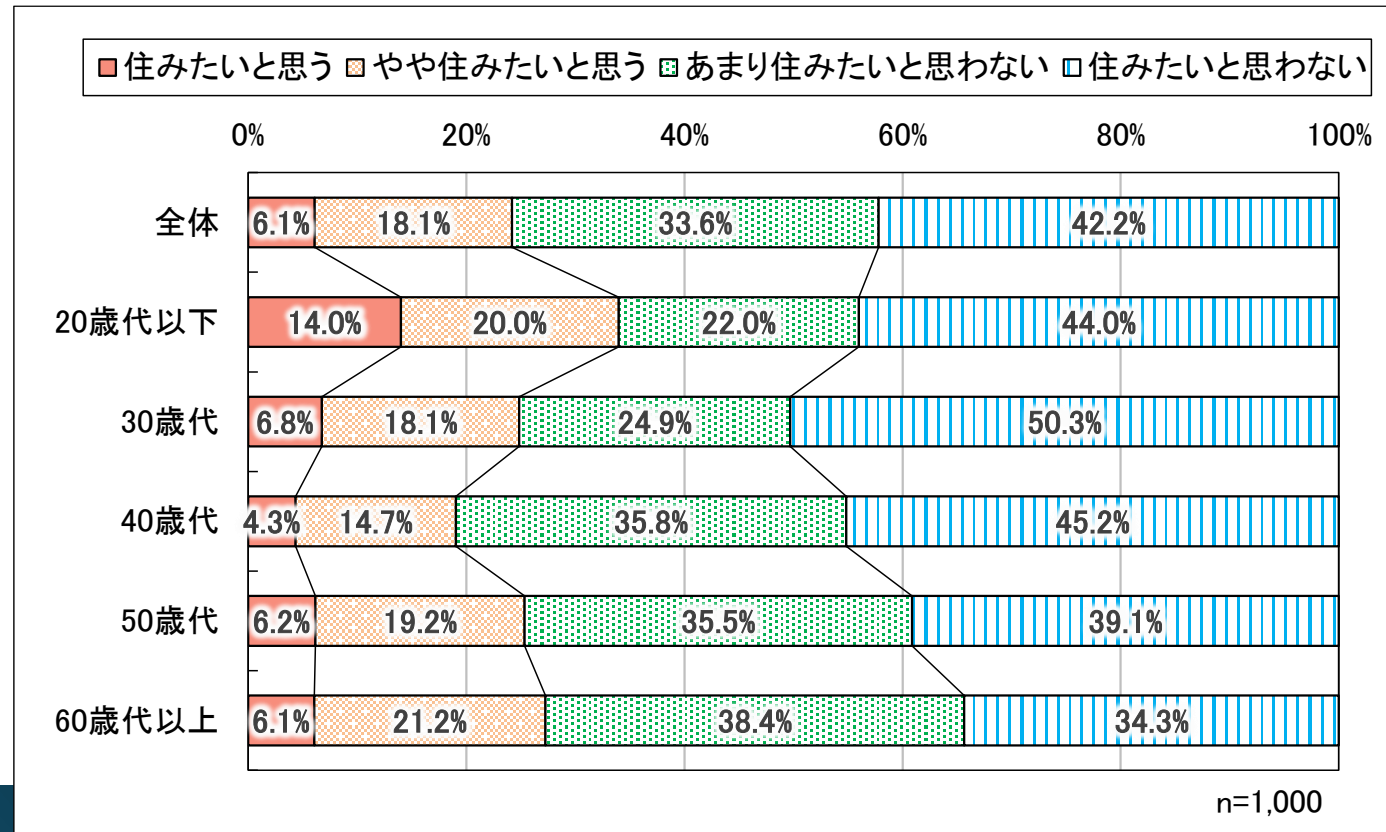
※この設問では、「改善すべきところ」の上位1位から5位までを回答していただいている。
※左記のグラフは、このうち上位1位に挙げられた選択肢を対象としている。

(2) 結果の概要

⑤ 渋谷区への居住意向【渋谷区に住んでみたいと思うか】（回答は1つだけ）

- ◆ 全体では、「住みたいと思う（住みたいと思う・やや住みたいと思うの合計、以下同様。）」が24.2%で、「住みたいと思わない（あまり住みたいと思わない・住みたいと思わないの合計、以下同様。）」の75.8%を大きく下回っています。
- ◆ 年代別にみると、「住みたいと思う」では、20歳代以下が34.0%で最も高く、以下、60歳代以上の27.3%、50歳代の25.4%となっています。
- ◆ 一方、「住みたいと思わない」では、40歳代が80.9%と他の年代に比べて高い回答率となっています。

<渋谷区への居住意向>

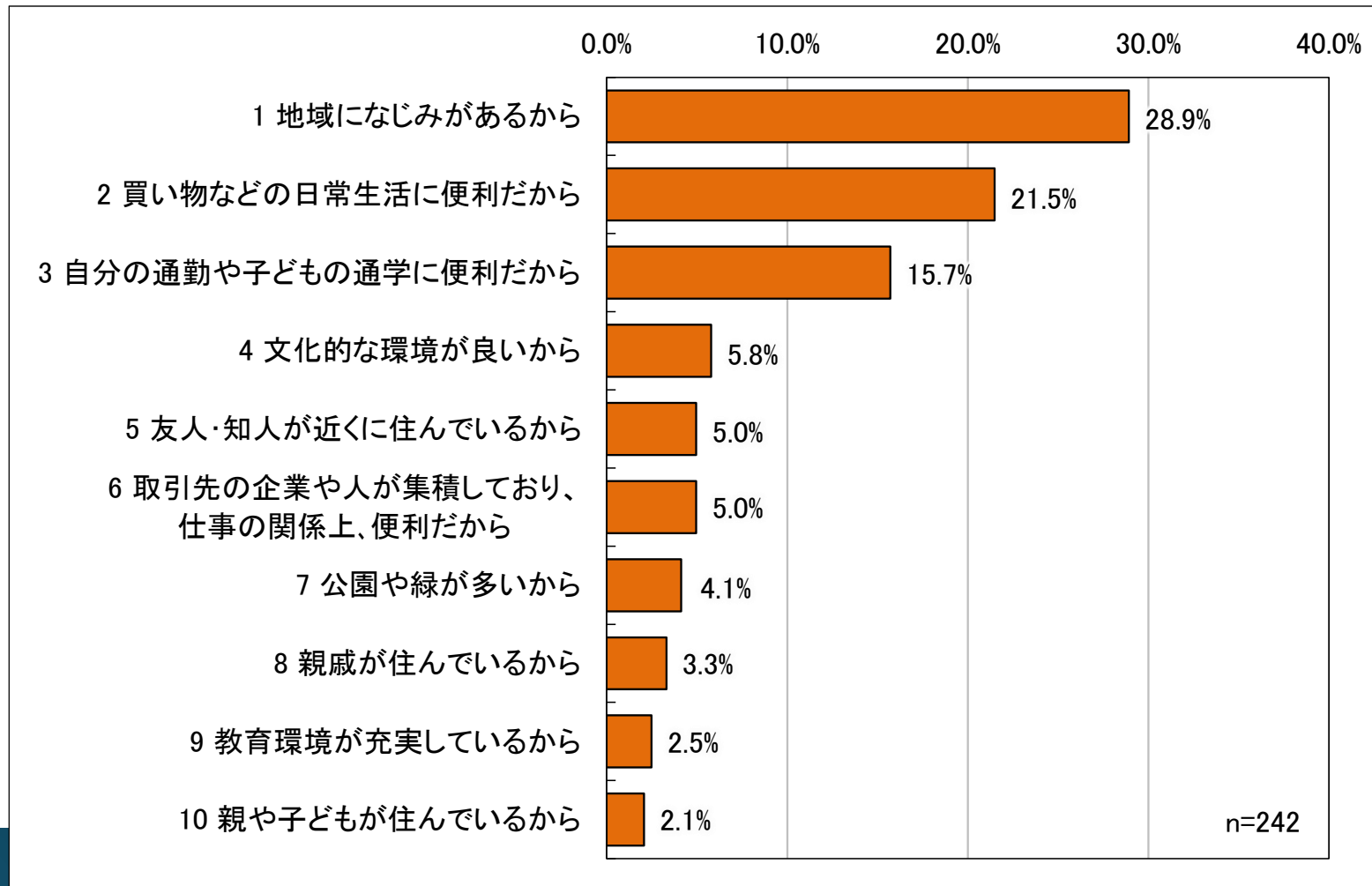


(2) 結果の概要

⑥ 渋谷区に「住みたいと思う」理由（回答は5つまで）

- ◆ 「1 地域になじみがあるから」が28.9%で最も高く、以下、「2 買い物などの日常生活に便利だから」の21.5%、「3 自分の通勤や子どもの通学に便利だから」の15.7%となっています。

<渋谷区に住みたいと思う理由※> 上位10番目まで



※この設問では、「住みたいと思う理由」の上位1位から5位までを回答していただいている。

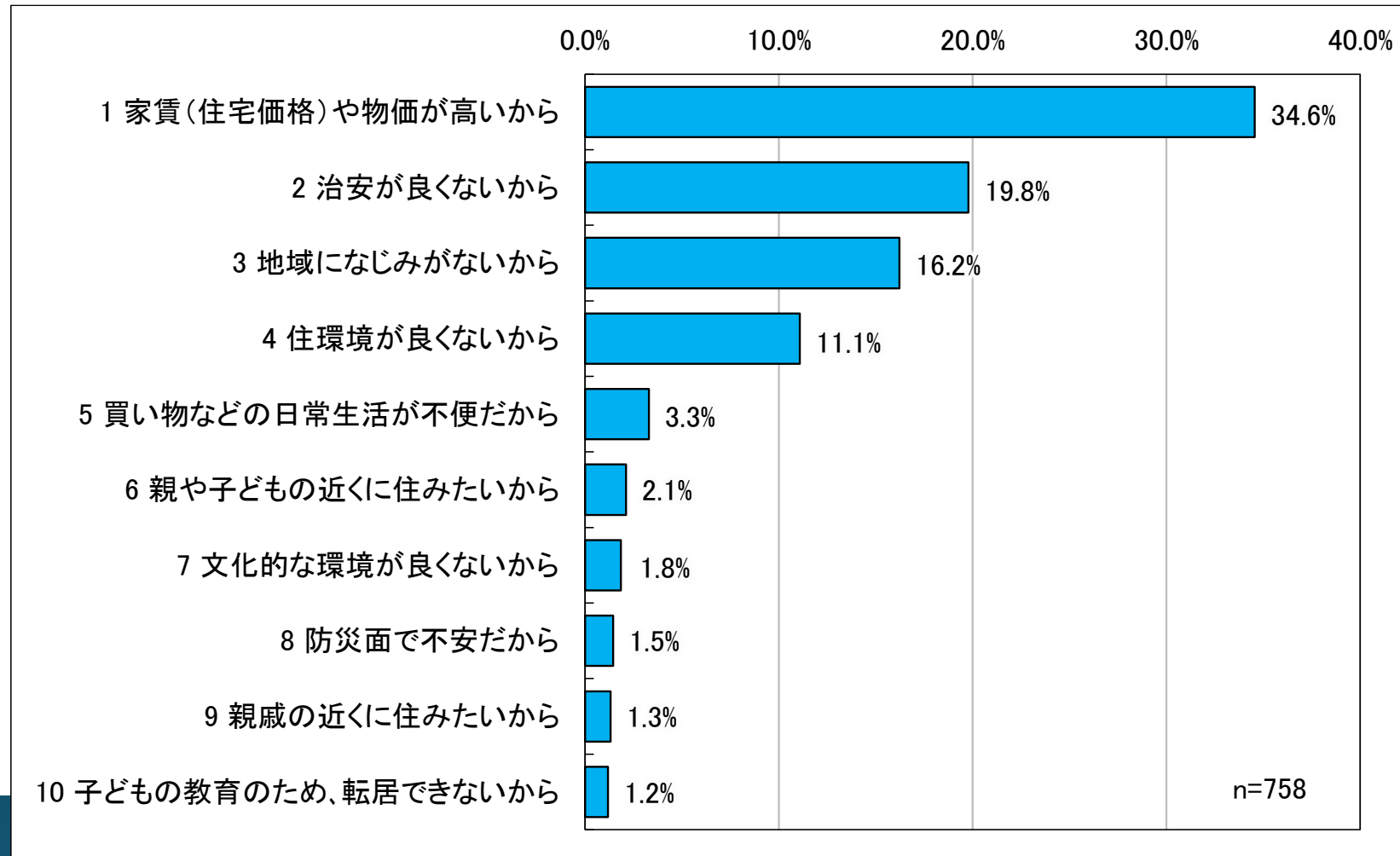
※左記のグラフは、このうち上位1位に挙げられた選択肢を対象としている。

(2) 結果の概要

⑦ 渋谷区に「住みたいと思わない」理由（回答は5つまで）

- ◆ 「1 家賃（住宅価格）や物価が高いから」が34.6%で最も高く、以下、「2 治安が良くないから」の19.8%、「3 地域になじみがないから」の16.2%となっています。

＜渋谷区に住みたいと思わない理由※＞
上位10番目まで



※この設問では、「住みたいと思わない理由」の上位1位から5位までを回答していただいている。

※左記のグラフは、このうち上位1位に挙げられた選択肢を対象としている。

3 来街者アンケート調査

(1) 調査の概要

① 調査の目的

◆ 渋谷区に来街する方を対象に、各エリアの魅力を高めるための取組や渋谷区全体の良いところ、改善すべきところなどを把握し、今回策定する長期基本計画の基礎資料とすることを目的に実施したものです。

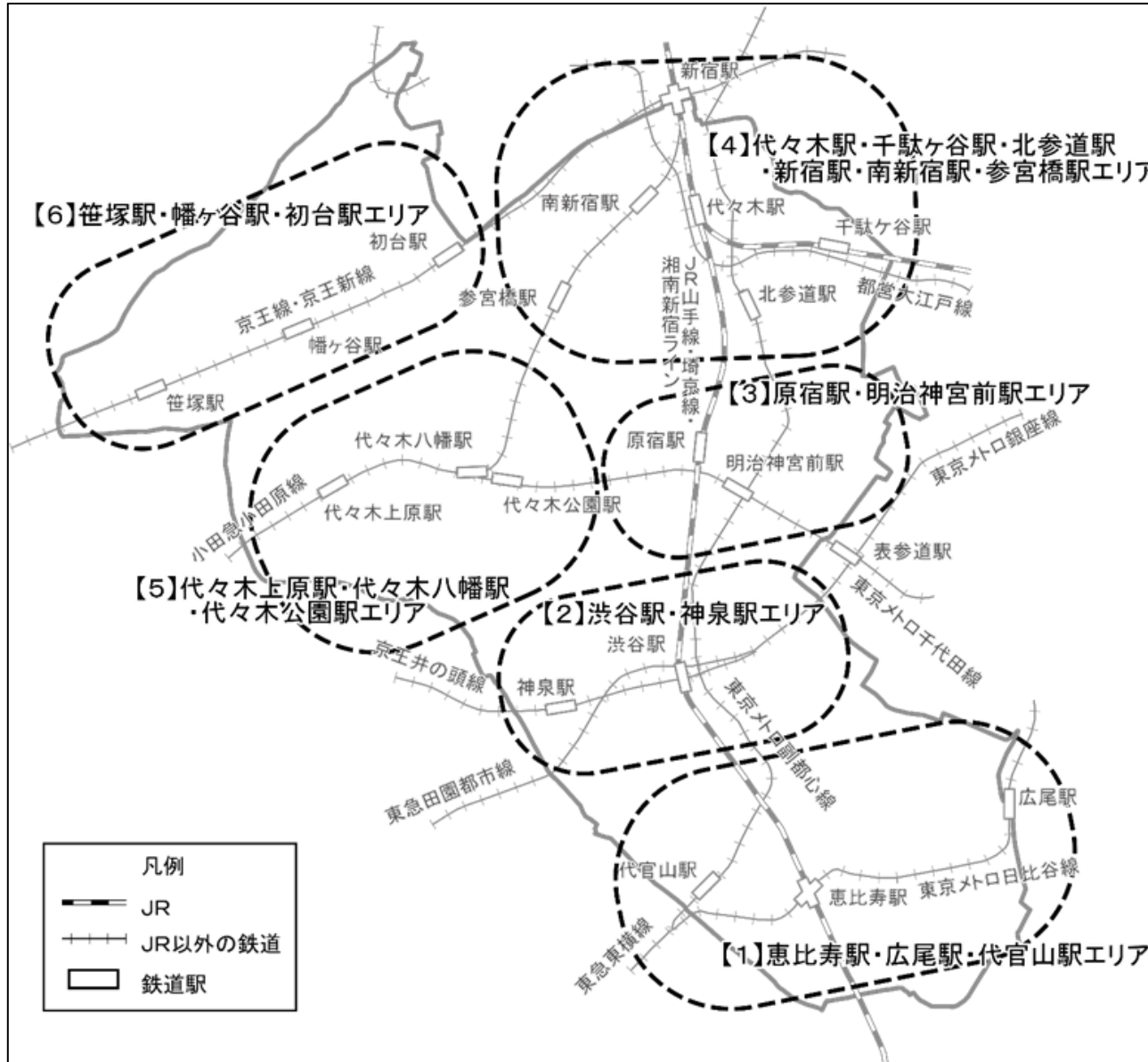
② 調査の対象、実施方法・期間

調査対象	以下の条件に該当する18歳以上の対象者1,000人 ①これまでに渋谷区に住んだことが無い ②1都3県(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)の居住者 ③概ね最近2年以内に2回以上、仕事以外で以下の【1】～【6】のいずれかを訪れたことがある方 【1】恵比寿駅・広尾駅・代官山駅エリア 【2】渋谷駅・神泉駅エリア 【3】原宿駅・明治神宮前駅エリア 【4】代々木駅・千駄ヶ谷駅・北参道駅・新宿駅・南新宿駅・参宮橋駅エリア 【5】代々木上原駅・代々木八幡駅・代々木公園駅エリア 【6】笹塚駅・幡ヶ谷駅・初台駅エリア
実施方法	WEB調査会社の登録モニターへのインターネット方式によるアンケート調査
実施期間	令和7年12月12日～12月15日

③ 設問の構成

- 【1 回答者の属性】年代、居住地、渋谷区内への来街状況、他
- 【2 渋谷区内の各エリアへの来街頻度など】各エリアへの来街頻度、主に訪れるエリアへの来街目的、他
- 【3 当該エリアを訪問時の行動など】最近、当該エリアを訪れた際の満足度、他
- 【4 当該エリアの印象】当該エリアの魅力を高めるために必要な取組、他
- 【5 渋谷区全体の印象など】渋谷区への愛着、渋谷区の「良いところ」、現在の渋谷区の「改善すべきところ」、他

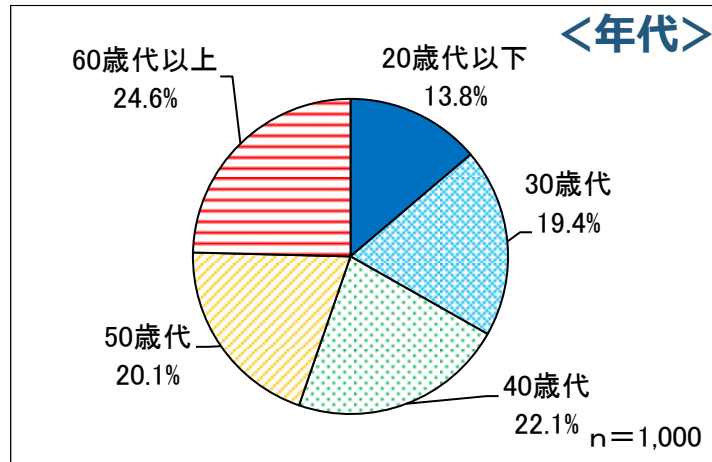
＜来街者が主に訪れるエリアの区分＞



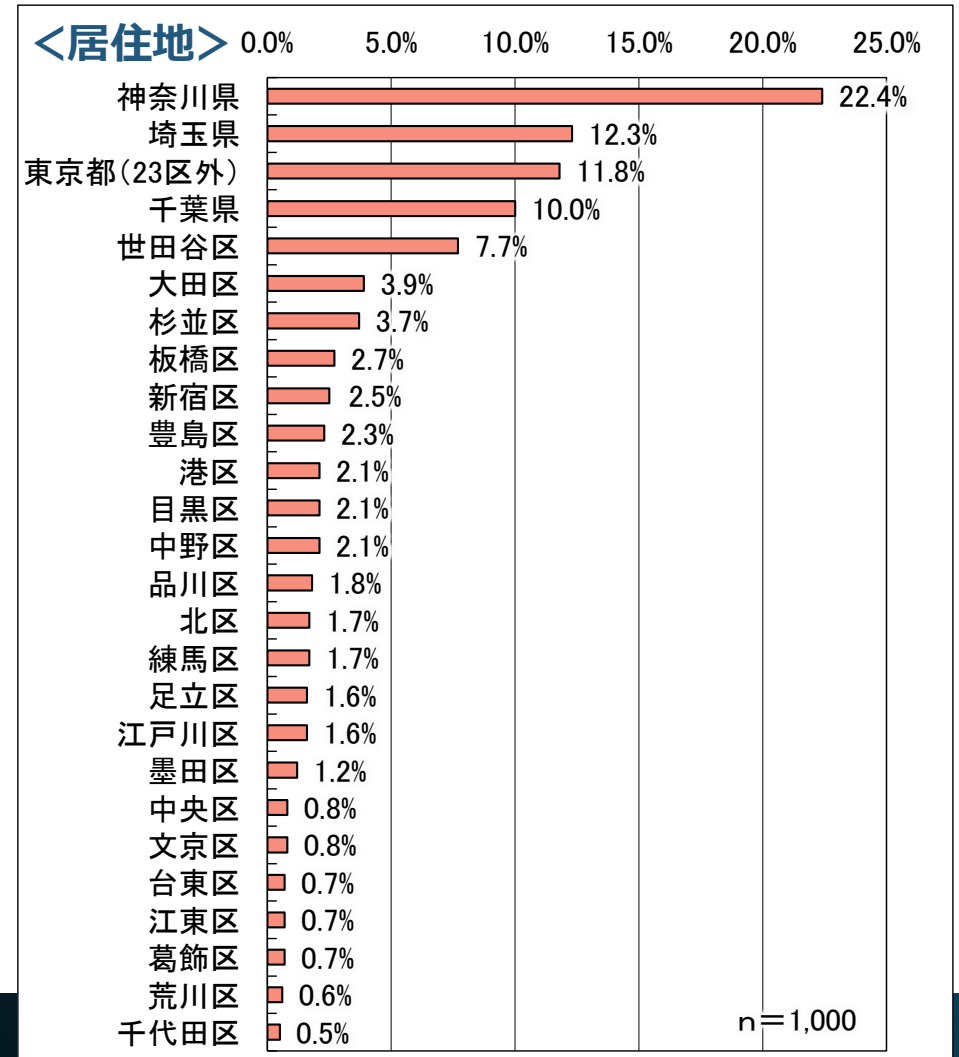
(2) 結果の概要

① 回答者の属性【年代、居住地】

- ◆年代では、「60歳代以上」が24.6%で最も多く、以下、「40歳代」の22.1%、「50歳代」の20.1%、「30歳代」の19.4%、「20歳代以下」の13.8%となっています。



- ◆居住地では、「神奈川県」が22.4%で最も多く、以下、「埼玉県」の12.3%、「東京都(23区外)」の11.8%であり、これらの合計が全体の46.5%を占めています。
- ◆また、本区を除いた「東京都区部」は合計43.5%となっています。

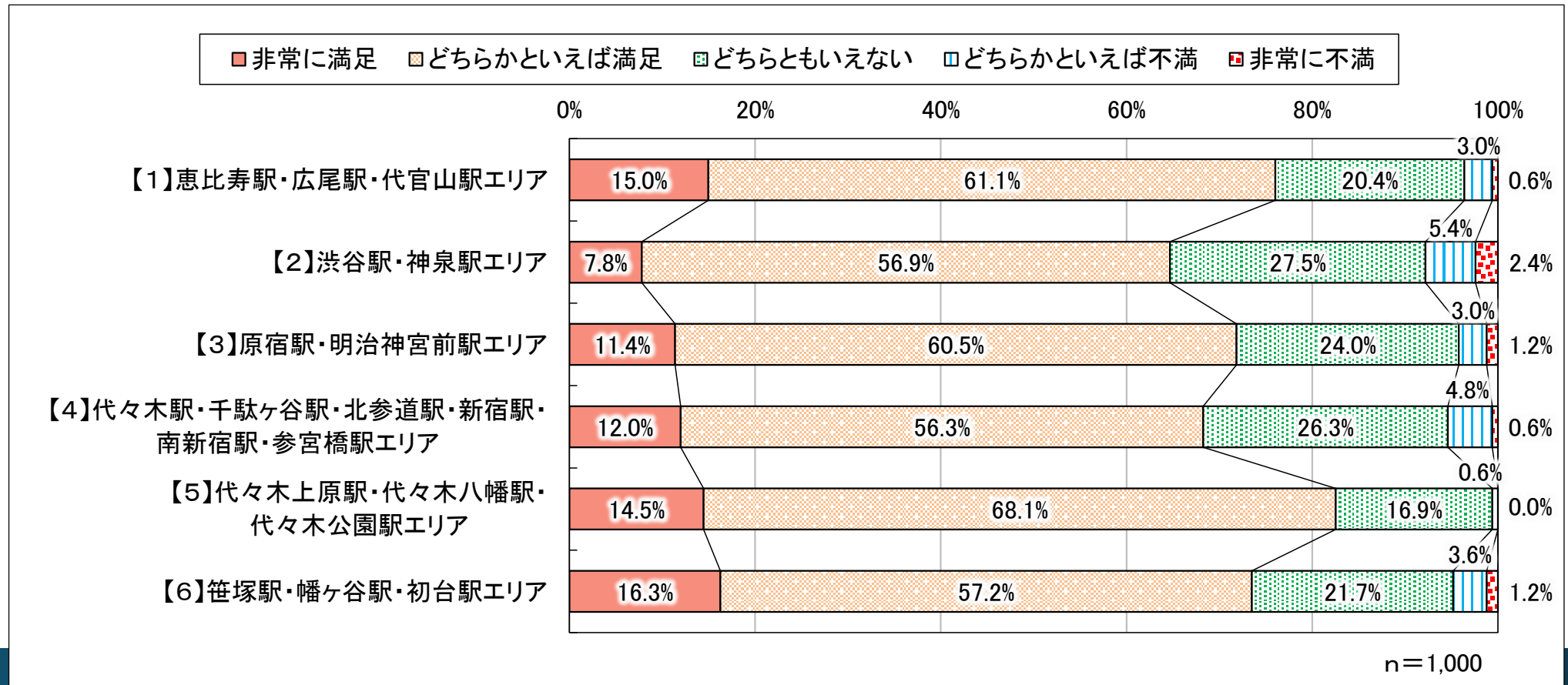


(2) 結果の概要

②最近、当該エリアを訪れた際の満足度（回答は1つだけ）

- ◆ 「非常に満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた「満足」が最も高いのは、「【5】代々木上原駅・代々木八幡駅・代々木公園駅エリア」の82.5%であり、以下、「【1】恵比寿駅・広尾駅・代官山駅エリア」の76.0%、「【6】笹塚駅・幡ヶ谷駅・初台駅エリア」の73.5%となっています。
- ◆ 一方、「どちらかといえば不満」と「非常に不満」を合わせた「不満」は、いずれのエリアも10%未満となっています。

<最近、当該エリアを訪れた際の満足度>

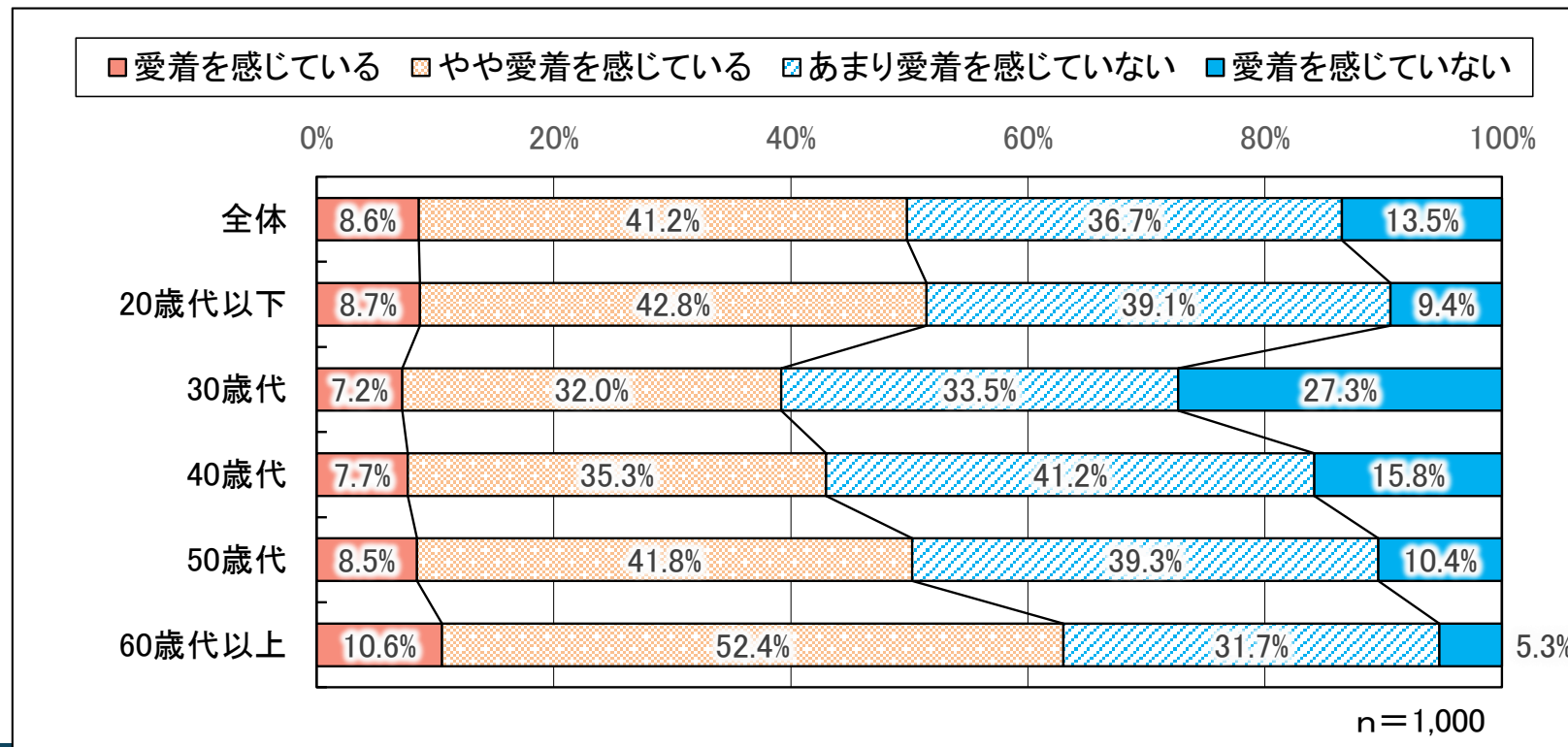


(2) 結果の概要

③ 渋谷区への愛着 (回答は1つだけ)

- ◆ 全体では、「愛着を感じている (愛着を感じている・やや愛着を感じているの合計、以下同様。)」が49.8%、「愛着を感じていない (あまり愛着を感じていない・愛着を感じていないの合計)」が50.2%でほぼ均等となっています。
- ◆ 年代別にみると、「愛着を感じている」では、60歳代以上が63.0%で最も高く、以下、20歳代以下の51.4%、50歳代の50.2%となっています。
- ◆ 「愛着を感じていない」では、30歳代が60.8%、40歳代が57.0%で他の年代と比べて高くなっています。

<渋谷区への愛着>

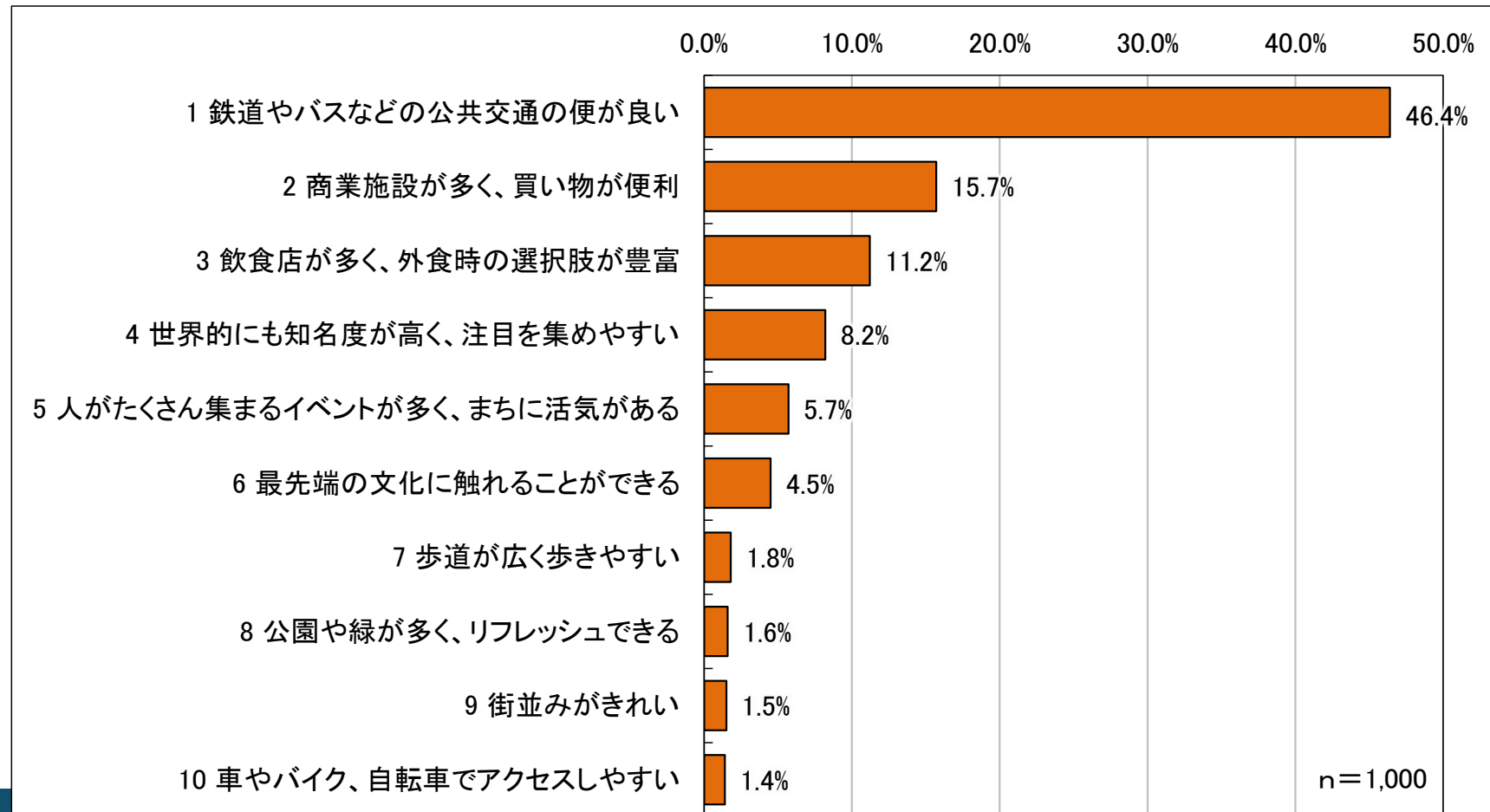


(2) 結果の概要

④ 渋谷区の「良いところ」 (回答は3つまで)

- ◆ 「1 鉄道やバスなどの公共交通の便が良い」が46.4%で最も高く、以下、「2 商業施設が多く、買い物が便利」の15.7%、「3 飲食店が多く、外食時の選択肢が豊富」の11.2%であり、交通や買い物・飲食等の利便性が高く評価されています。

<渋谷区の「良いところ」※> 上位10番目まで



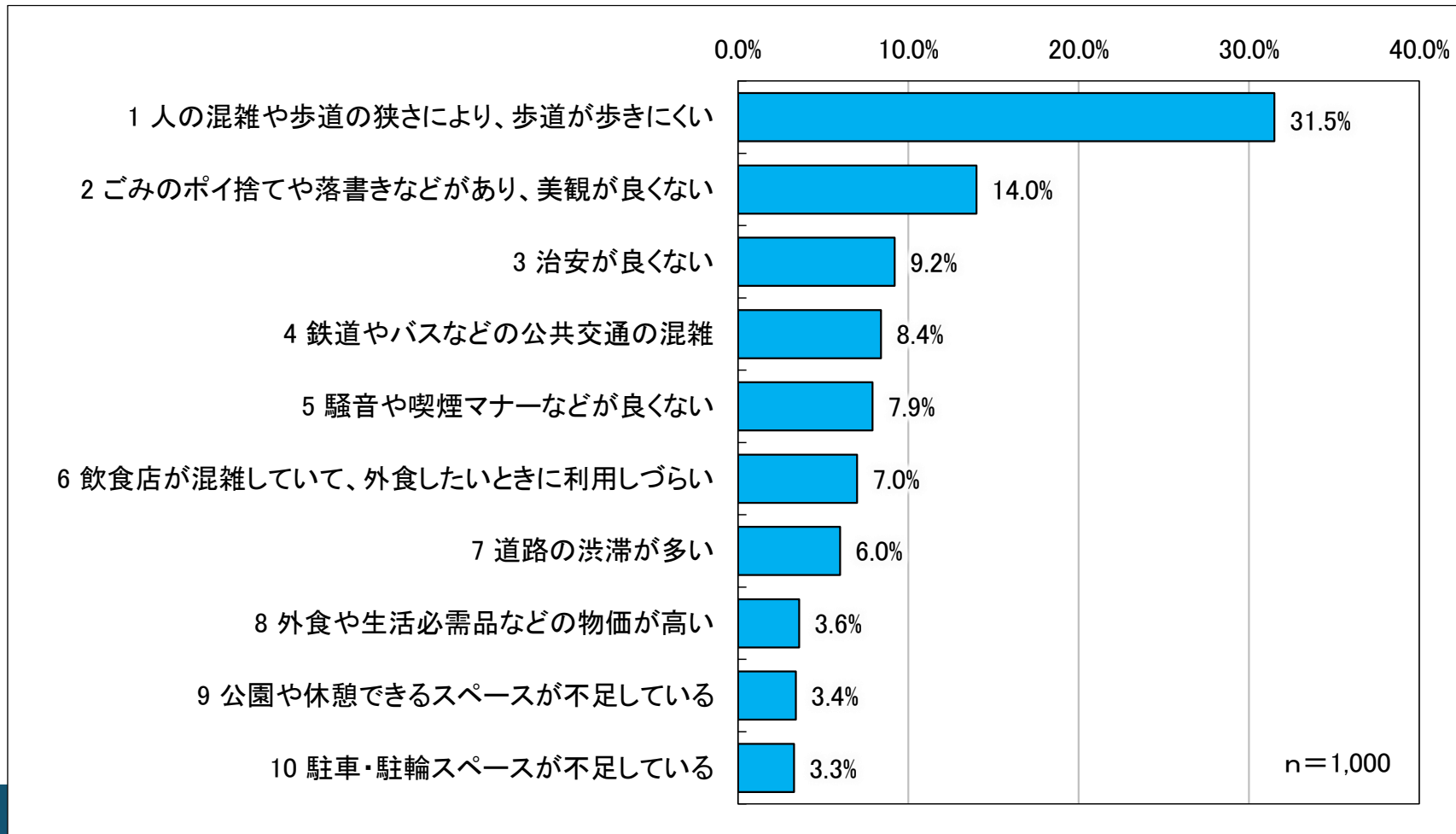
※この設問では、「良いところ」の上位1位から3位までを回答していただいている。
※左記のグラフは、このうち上位1位に挙げられた選択肢を対象としている。

(2) 結果の概要

⑤現在の渋谷区の「改善すべきところ」(回答は3つまで)

- ◆ 「1 人の混雑や歩道の狭さにより、歩道が歩きにくい」が31.5%で最も高く、以下、「2 ごみのポイ捨てや落書きなどがあり、美観が良くない」の14.0%、「3 治安が良くない」の9.2%となっています。

<現在の渋谷区の「改善すべきところ」※> 上位10番目まで



※この設問では、「改善すべきところ」の上位1位から3位までを回答していただいている。
※左記のグラフは、このうち上位1位に挙げられた選択肢を対象としている。